

小 郡 市 ス ポ ー ツ 推 進 基 本 計 画



平成 27 年 3 月

小 郡 市
小郡市教育委員会

はじめに

小郡市は、宝満川や花立山といった緑豊かな自然に恵まれ、小郡官衙遺跡群をはじめとする史跡や伝統文化が数多く残っているまちです。また、スポーツ分野においては、「スポーツ・レクリエーションを通して心身ともに健康な状態が維持できるよう、気軽に参加し楽しむことができる場所や機会の提供を行い、生涯スポーツの普及に努める」ことを基本目標として、スポーツを通じたまちづくりに取り組んでいます。

そのような中、日本陸連第2種公認の陸上競技場やフルカラーLEDの電光掲示板を備えたオリンピック規格の野球場等がある「小郡運動公園」をはじめとした各スポーツ施設を利用し、さまざまなスポーツ活動が盛んに行われており、プロ野球「ウエスタン・リーグ公式戦」や全国からランナーが集う「小郡ロードレース大会」が開催されるなど、多くの市民の皆さんが日常的にスポーツに親しむ光景を見ることができます。このような環境の下、オリンピック選手やプロ野球選手、女子サッカー選手などさまざまな競技でトップアスリートを輩出しています。

スポーツに親しむことは、健康づくりや体力の維持・向上はもちろん、達成感や充実感、仲間とのつながりが生まれるなど、日々の生活に潤いを与えてくれます。また、スポーツを行うひたむきな姿は、私たちに勇気や感動を与えてくれます。

このたび、市民の皆さんがスポーツを通して、健康で生き生きとした生活を送ることができるよう「小郡市スポーツ推進基本計画」を策定いたしました。この計画に基づき、さまざまな形で誰もが気軽にスポーツに親しむことができる機会や仕組み、環境の充実に取り組み、市民の皆さんの笑顔があふれる、活気あるまちづくりを目指していきたいと思います。

最後に、計画の策定にあたりご尽力いただきました小郡市スポーツ推進基本計画策定委員会をはじめ、アンケート調査や団体ヒアリングなどで多くの皆様方から貴重な意見を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

平成 27 年 3 月

小 郡 市 長 平 安 正 知
小郡市教育委員会教育長 清 武 輝

目 次

はじめに

第1章 計画策定の考え方	1
1-1. 計画策定の趣旨	1
1-2. 計画の位置付け	2
1-3. 計画の期間	2
第2章 現状と課題	3
2-1. 小郡市の特性	3
(1)位置・地形	3
(2)人口・世帯	4
(3)スポーツ施設の概要	5
(4)スポーツ事業の概要	8
2-2. スポーツに関する状況	9
(1)公共スポーツ施設の現況調査結果	9
(2)市民アンケート調査	12
(3)小・中学生アンケート調査	17
(4)団体ヒアリング調査	20
2-3. スポーツ推進に向けた課題	21
第3章 基本理念と基本施策	23
3-1. 基本理念	23
3-2. 基本方針	24
3-3. 施策体系	25
3-4. 基本施策	26
第4章 計画の推進について	33
4-1. 計画の推進と進行管理	33
資料編	35
1. 市民意識調査結果	35
2. 団体ヒアリング調査結果	63
3. 市内スポーツ施設調査結果	77
4. スポーツ基本法	81
5. スポーツ推進基本計画策定体制	83
6. 用語解説	85

第1章 計画策定の考え方

1-1. 計画策定の趣旨

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進を図るとともに、生涯にわたり心身とも健康で文化的な生活を営む上で重要な要素です。また、スポーツを行うことで生まれる、人と人及び地域と地域の交流は、地域の一体感や活力を醸成するものです。

わが国では、これまで昭和36年に制定された「スポーツ振興法」に基づき、国民の心身の健全な発達と明るく豊かな国民生活を形成するために、スポーツの振興を行ってきました。しかし、近年、少子高齢化、情報化の進展、地域社会の変化、人間関係の希薄化など、日本の社会環境は著しく変化してきました。

そのため、スポーツが青少年の健全育成や体力の向上だけでなく、協働による地域振興や、経済への波及効果、健康で活力に満ちた長寿社会の創造、スポーツによる国際貢献や開発支援など、スポーツへの期待がますます高まってきました。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による、復旧・復興の過程の中で、「社会の絆」の重要性が改めて認識されています。こうした状況をふまえ、国においては、制定から50年が経過した「スポーツ振興法」を見直し、新たに、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与することを目的とした「スポーツ基本法」が制定されました。この法律の目的をふまえ、スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を創出するため、平成24年3月に「スポーツ基本計画」が策定されました。

本市では、少子高齢化が進展するとともに、急激な社会の進展によるライフスタイルの変化など、市民の生活環境も大きく変化しています。また、県においても、新たに「福岡県スポーツ推進計画」が策定され、「県民幸福度日本一」に向けての新たな動きが始まりました。

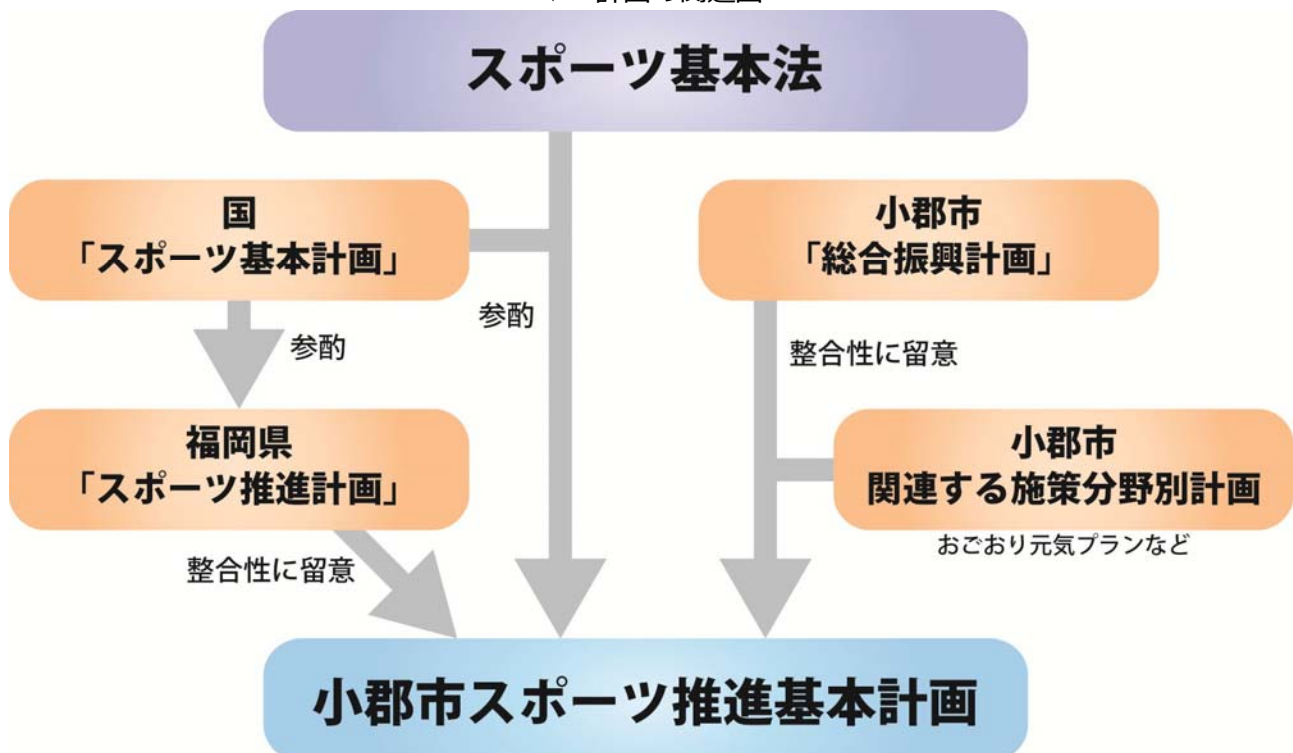
本市においても、国、県に準じるとともに、競技性の高いスポーツだけでなく、ウォーキングなどの身体を動かす活動や遊びの要素を取り入れながらスポーツとして行なわれるレクリエーションも含めて計画の対象にしながら、本市独自の計画を策定するものであり、併せて老朽化が進むスポーツ施設の整備計画を検討していきます。

1-2. スポーツ推進基本計画の位置付け

スポーツ推進基本計画は、小郡市がスポーツの推進をとおして目指すべき姿を示すものであり、今後のスポーツ推進に係る小郡市の施策の方向性を示す基本的計画です。競技性の高いスポーツだけではなく、ウォーキングなどの身体を動かす活動や遊びの要素を取り入れながらスポーツとして行なわれるレクリエーションも含めて計画の対象とします。

策定にあたっては、スポーツ基本法第10条「地方公共団体が定めるスポーツの推進に関する計画」に該当するものとして、スポーツ基本法の理念に則り、その他スポーツ推進に関する上位計画だけでなく、小郡市のまちづくりとの整合性を図るものとしします。

▼ 計画の関連図



1-3. 計画の期間

本計画は、策定から概ね10年間（平成27年度から平成36年度）とし、10年間を通じた基本理念、基本方針を定め、今後総合的・計画的に取り組む施策を体系化しています。

また、社会情勢の変化や、国のスポーツ基本計画や本市の総合振興計画など関連する計画等との整合性に留意し、必要に応じて見直し等を行うこととします。

第2章 現状と課題

2-1. 小郡市の特性

(1) 位置・地形

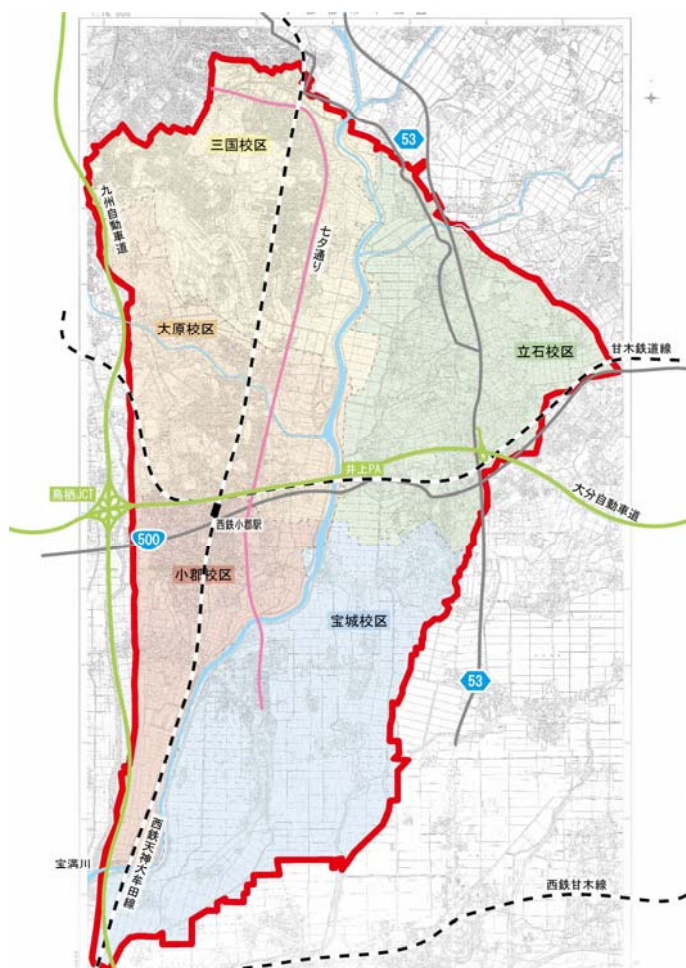
本市は、昭和30年に小郡町、三国村、立石村、御原村、味坂村の1町4村が合併し、新生小郡町となり、その後、人口増加に伴い昭和47年に市政を施行しました。

市域は、福岡県の南部、筑紫平野の北、佐賀県との県境に位置し、南東を大刀洗町、久留米市に、西は佐賀県、北東は筑紫野市、筑前町にそれぞれ接している東西6km、南北12kmにわたる区域です。

総面積は、4,550haで、全域が都市計画区域に指定されており、可住地面積は3,564ha、非可住地面積が985.5haで、その内、市街化区域が776.1ha、農地面積が2,256.3haとなっています。市域は筑後川と宝満川が合流するデルタ地帯に位置し、東北の台地には標高130.6mの花立山があり、西北丘陵地帯では住宅開発が進み新たな住宅街が出現しています。

また、市の中央部を南北に貫流する宝満川を挟んで、西側に住宅地、東側に田園地帯が広がっています。

交通は、鉄道が2線あり、南北に走る西鉄天神大牟田線と東西に横断する甘木鉄道があります。高速道路は、市の西端を縦断する九州自動車道と、鳥栖インターチェンジでクロスし、市域を横断している大分自動車道があります。また、国道500号が甘木鉄道や大分自動車道と併走するように、市域を横断しています。



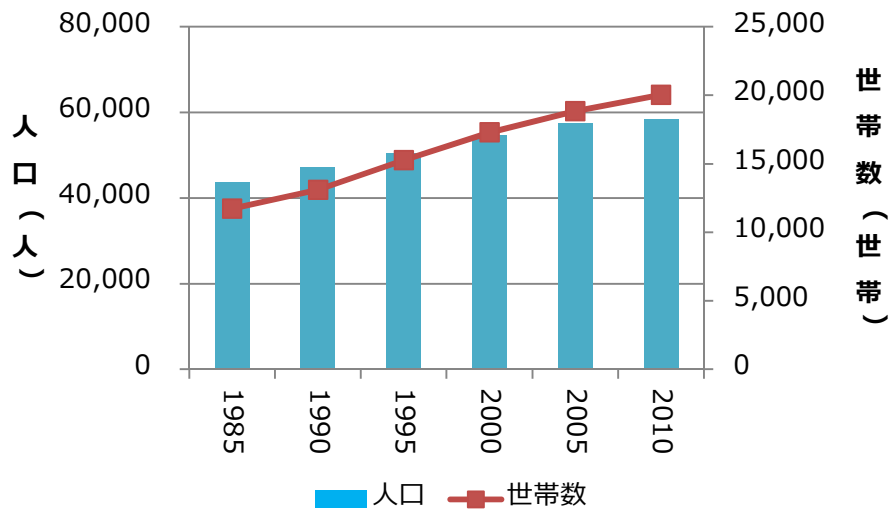
(2) 人口・世帯

小郡市の人口は微増傾向にあります。また、世帯数についても増加しています。

また、年齢3区分別の人口の傾向を見ると、0-14歳の世代が1985年をピークに増減を繰り返しながら全体的に減少している一方、65歳以上の人口は1985年以降増加しており、少子高齢化が進行していることがわかります。

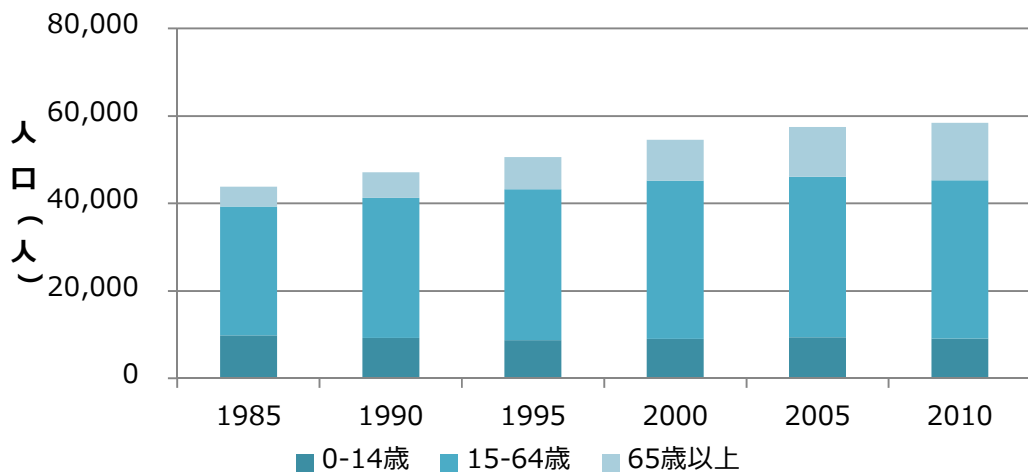
▼ 人口・世帯数データ (出典：国勢調査)

年(5年毎)	1985	1990	1995	2000	2005	2010
人口(人)	43,811	47,116	50,612	54,583	57,481	58,499
世帯数(世帯)	11,717	13,093	15,258	17,281	18,831	20,024



▼ 年齢別人口データ (出典：国勢調査)

年齢別(人)	1985	1990	1995	2000	2005	2010
0-14歳	9,816	9,214	8,682	9,032	9,341	9,094
15-64歳	29,483	32,040	34,523	36,187	36,732	36,205
65歳以上	4,504	5,851	7,407	9,356	11,406	13,162
高齢化率	10%	12%	15%	17%	20%	22%



(3) スポーツ施設の概要

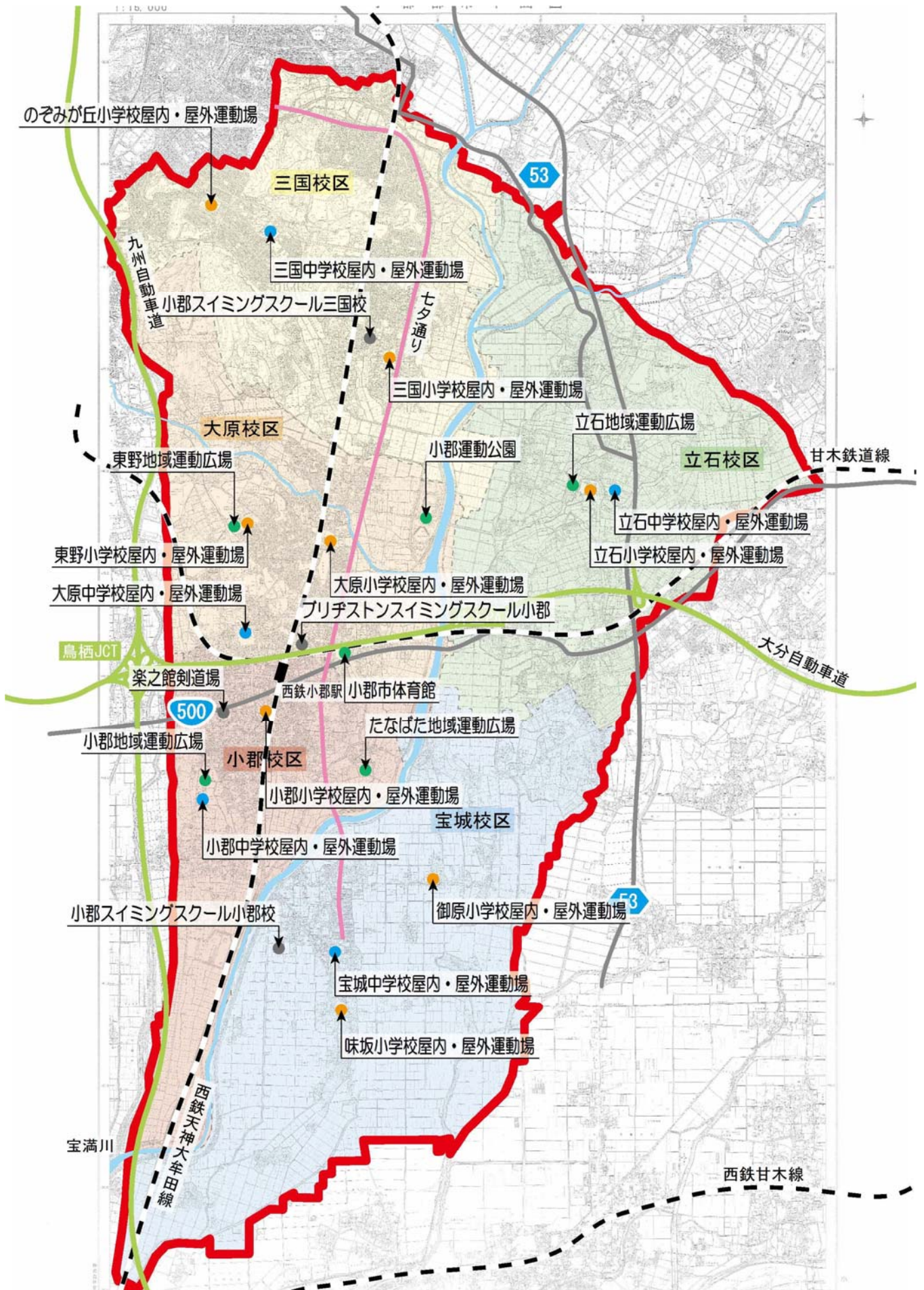
本計画の対象となる小郡市内のスポーツ施設の概要を以下に示します。小郡市体育館、小郡市勤労青少年体育センター（武道場）、小郡市弓道場については、建設から約40年経過しており、老朽化が進行していることや、武道場及び弓道場は耐震改修工事を行っていないことから新耐震基準（昭和56年改正）に適合していないことが分かります。特に、小郡市体育館については、建設当時児童体育館として建設された経緯があり、天井高が低いなど競技基準に適合していないことが指摘されています。

また、スポーツ施設の配置状況（次頁）を見ると、多くの施設が市の中央部に位置していますが、小・中学校の屋内運動場や屋外運動場が社会体育に開放されており、中央部以外の身近なスポーツ施設として機能していることが分かります。

▼ スポーツ施設の一覧

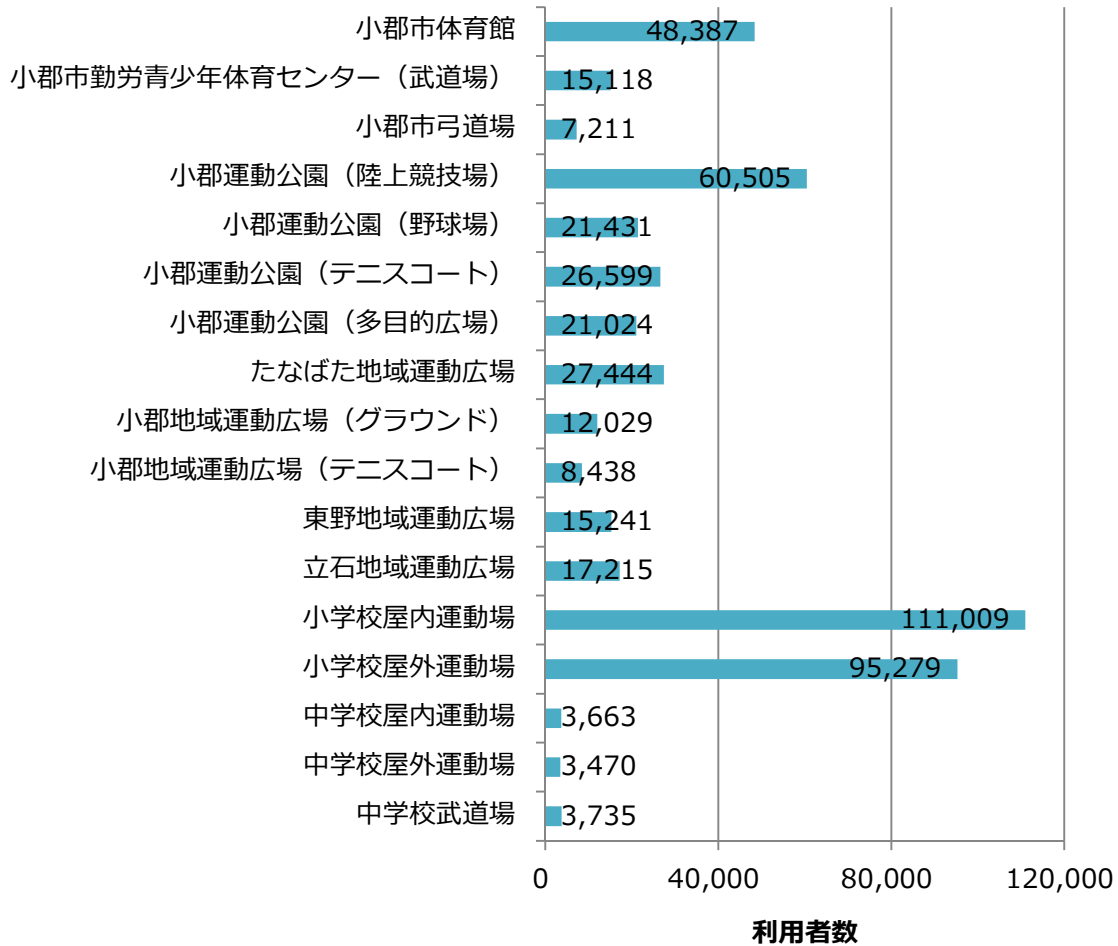
	施設名	建設 年次	経過 年数	建築 構造	耐震 基準
市 施 設	小郡市体育館	1974	40	RC造	耐震補強済み
	小郡市勤労青少年体育センター（武道場）	1975	39	RC造	不可
	小郡市弓道場	1976	38	木造	不可
	小郡運動公園（陸上競技場）	1994	20	RC造	可
	小郡運動公園（野球場）	1994	20	RC造	可
	小郡運動公園（テニスコート）	1994	20	-	-
	小郡運動公園（多目的広場）	1994	20	-	-
	小郡運動公園（アスレチック広場）	1994	20	-	-
	小郡運動公園（ジョギングコース）	1994	20	-	-
	たなばた地域運動広場	1994	20	-	-
	小郡地域運動広場	1984	30	-	-
	東野地域運動広場	1992	22	-	-
	立石地域運動広場	1994	20	-	-
	小・中学校屋内・屋外運動場	-	-	-	-
民 間 施 設	ブリヂストンスイミングスクール小郡	-	-	-	-
	小郡スイミングスクール 三国校	-	-	-	-
	小郡スイミングスクール 小郡校	-	-	-	-
	楽之館剣道場	-	-	-	-

▼ スポーツ施設の位置図



また、市の運動施設の利用者数（平成 24 年度資料）を見ると、小郡市体育館及び小郡運動公園の利用者数が多く、年間約 5 万人の人が利用しています。また、小・中学校の屋内・屋外運動場についても利用者が多く、特に小学校の屋内・屋外運動場の利用が多いことが分かります。

▼ 各施設の利用者数（平成 24 年度）



(4) スポーツ事業の概要

小郡市で実施されているスポーツ事業の概要を以下に整理します。

▼ スポーツ事業一覧

事業の分類	事業名	開催時期	開催場所
市民を対象とした事業	公民館対抗バレーボール大会	4月	小郡市体育館
	フェスティバル小郡 市民スポーツ大会	5～10月	各施設
	スポーツレクリエーション大会	9月	小郡市体育館
	市民ふれあい運動会	10月	陸上競技場
	成人祭祝賀駅伝大会	1月	市内、運動公園
	小郡ロードレース大会	3月	市内
子どもを対象とした事業	ジュニアスポーツフェスティバル	4月	小郡市体育館他
	ライジング福岡によるバスケットボールクリニック	7月	市内小学校体育館
	グリーンパークみんなであそぼう！ in おごおり	11月	陸上競技場
	福岡ソフトバンクホークスによる野球教室	12月	野球場
	福岡ソフトバンクホークス	12月	野球場
	帆足和幸選手によるふれあい教室		
	サガン鳥栖サッカー教室 in おごおり	3月	陸上競技場
就学前の親子を対象とした事業	かるがも教室	年20回	小郡市体育館
	春休み・夏休み・冬休み親子チャレンジ教室	年3回	-
観戦型事業	ウエスタン・リーグ公式戦	-	野球場

※上記事業風景を32ページおよび34ページに掲載しています。

2-2. スポーツに関する状況

(1) 公共スポーツ施設の現況調査結果

■ 結果の概要

各スポーツ施設の現況調査結果の概要を以下に示します。

【小郡市体育館】

- ・ 建設から40年経過しており、建物全体が経年劣化により老朽化している
- ・ 外壁にはクラックが多数あり、また塗装の剥がれ、外壁の浮きなどが見られる
- ・ 建物の周囲が沈下しており、外部舗装部分に隙間が見られる
- ・ 駐車場等からのバリアフリーについては、スロープが建物の内外に確保されているものの、廊下に階段があるなど完全とは言えない
- ・ 樋や設備配管等についても劣化しており、漏水の原因となっている
- ・ 屋根部については屋上防水が劣化している
- ・ 体育館フロアについては床面の水平は保たれているが、随所に補修のあとが見られる
- ・ 建具のコーキングなど劣化が進行している
- ・ 建物内部の壁面にクラックが多数発生しており、そこからの漏水も見られる
- ・ 体育館フロアは十分な広さが確保されておらず、競技ニーズに対応できていない
- ・ 体育館フロアの天井高さは8.25mであり、バレーボールの基準として用いられている12.5mと比較すると低い



【小郡市勤労青少年体育センター（武道場）】

- ・ 建設から39年経過しており、建物全体が経年劣化により老朽化している
- ・ 卓球場や武道場の内部にクラックが発生している
- ・ 天井や壁から漏水している箇所が随所に見られる
- ・ 外壁にもクラックが発生し、タイルが浮いているなど劣化が進行している



【小郡市弓道場】

- ・ 建設から 38 年経過しており、外壁にクラックや的場屋根鉄骨にサビが発生しているなど経年劣化が進行している
- ・ 甘木鉄道の高架化に伴い、一部減築しており、射場面積が狭くなっている

**【小郡運動公園陸上競技場】**

- ・ 建設から 20 年経過しており、外壁等にクラックがあるなど建物の経年劣化が進行している

**【小郡運動公園野球場】**

- ・ 建設から 20 年経過しており、外壁等にクラックがあるなど建物の経年劣化が進行している
- ・ 外野盛土スタンドの擁壁に一部ずれや破断が発生している
- ・ 外野盛土スタンドの擁壁の水抜き穴が塞がれている



■ 結果を踏まえた課題の抽出

- ・ 全体的に経年劣化が進行しており、特に小郡市体育館、小郡市勤労青少年体育センター（武道場）、弓道場の劣化が著しく、建築躯体の更新が望まれます。
- ・ 小郡市体育館の体育室については、建設当時の位置付けが児童体育館であり、ステージが設置されているなど、屋内スポーツの拠点として屋内スポーツの競技基準に適合しておらず、屋内スポーツの推進を踏まえると機能が不足しており、機能向上を図る必要があります。
- ・ 小郡市体育館のバリアフリー等の機能面を見ても、駐車場から体育室までスロープが設置され、車いすやベビーカー等への配慮がされていますが、施設全体で見ると不備もあり、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を推進する必要があります。

(2) 市民アンケート調査**■ 調査概要**

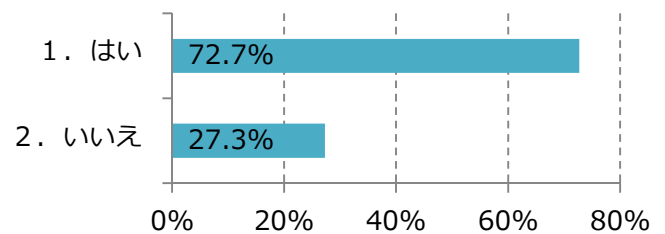
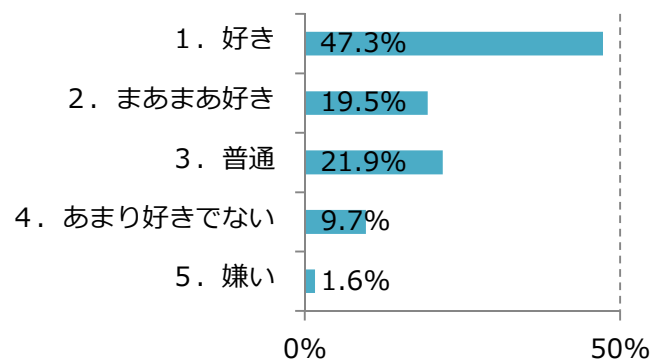
調査期間	平成 26 年 9 月 25 日～10 月 15 日
調査対象	市内にお住まいの 15 歳以上の男女
調査区域	小郡市内全域
配布回収	郵送による配布 2,000 通および施設利用者による
回 答	無記名方式
抽出方法	男女別・年齢別・地域別比率による無作為抽出
回 収 率	37.8% (無作為抽出分のみ)

■ 結果の概要

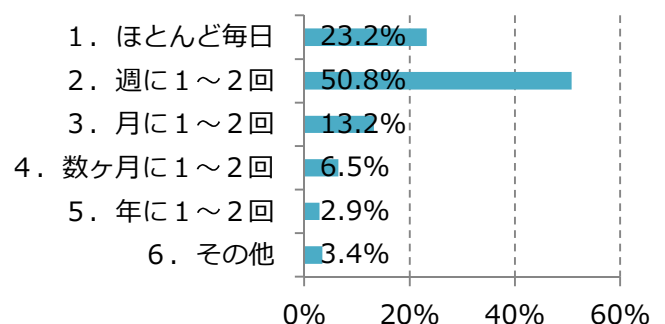
市民に対するアンケート調査結果の概要を以下に示します。アンケート調査の全ての結果は、参考資料を参照ください。

【スポーツとの関係に関する傾向】

1 年間のうち何らかのスポーツ・運動を行ったと回答した人やスポーツの観戦に対して好意的な印象を持っている割合が 7 割を超えており、全体的にスポーツ・運動に対して好意的な感情を持っていることが分かりました。また、内閣府の「体力・スポーツに関する世論調査（平成 21 年 9 月）」によると、週 1 回以上運動・スポーツを行う成人の割合は 45.3% となっていますが、小郡市では、「ほとんど毎日」「週に 1～2 回」スポーツを行っているという回答した人が全回答者のうち 5 割を超えており、全国平均より高くなっています。

問 この 1 年間スポーツ・運動をしたか？**問 スポーツは好きか？****【スポーツ・運動を行っている人の傾向】**

過去 1 年間で運動、スポーツを行った人は、前述したように「週に 1～2 回」や「ほとんど毎日」の頻度でスポーツを行っており、日常的にスポーツに慣れ親しんでいることが分かります。また、スポーツ・運動を行う時は、「クラブや同好会の仲間」と一緒に行うことが最も多いという結果ですが、「一人」

問 スポーツを行った頻度

でスポーツを行っている人も多くおり、活動している場所もウォーキングやジョギングをする人たちは「道路」を使用し、また「公園・広場」など専門的なスポーツ施設だけでなく、日常生活の中で様々なスポーツ・運動を行っていることが分かります。

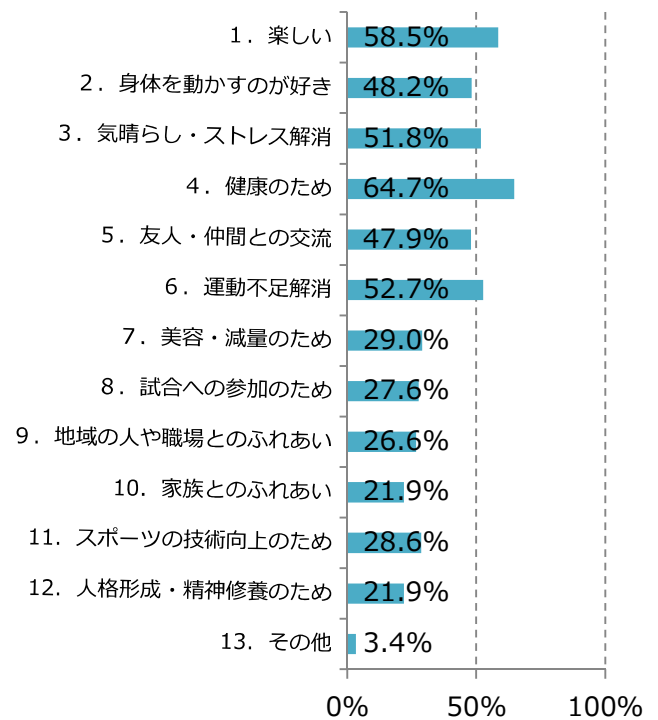
スポーツ・運動を行っている理由は、「健康のため」や「運動不足解消」等の健康に対する意識によるものが多く、また、「楽しい」「気晴らし・ストレス解消」など余暇活動として運動やスポーツを行っている人も多いことが分かります。

【スポーツ・運動を行っていない人の傾向】

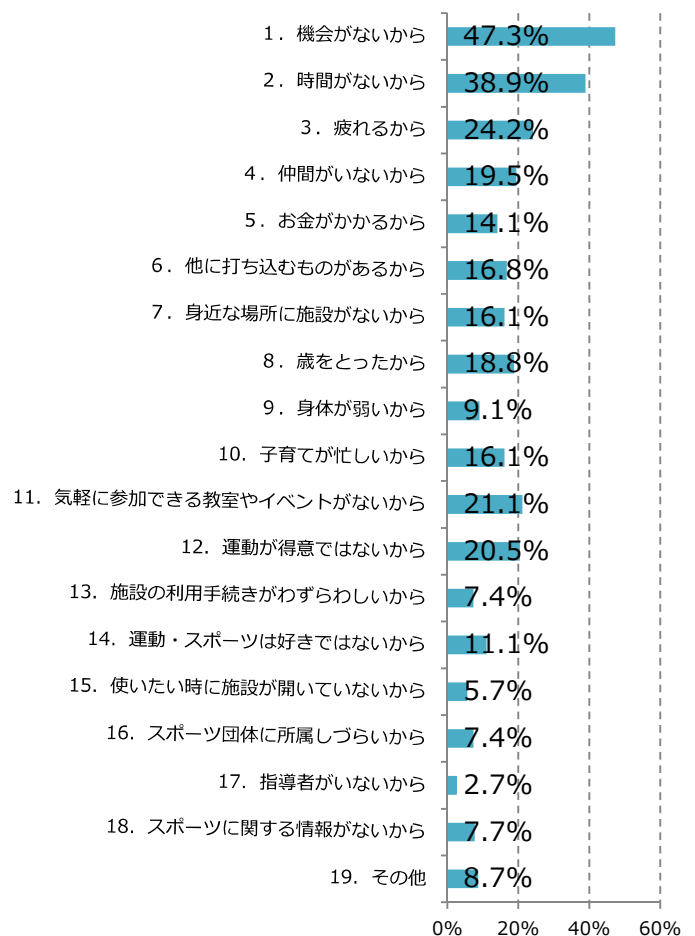
スポーツ・運動を行っていない理由は、「機会がないから」が最も多く、次いで「時間がないから」が多くなっており、スポーツ・運動に対する意識はあるが、きっかけが少ないなどの要因で、運動・スポーツを行なっていないことが考えられます。また、行いたいスポーツは、「ウォーキング」や「エアロビクス、エクササイズ等」が多くなっており、気軽なスポーツ・運動から始めることを望んでおり、またこれらのスポーツが健康増進に寄与することも関係していると考えられます。スポーツ・運動を行うきっかけは、「自分の意欲を高める」が最も多くなっており、「家族や友人からの誘い」が次いで高くなっています。

以上のことを踏まえると、スポーツ・運動を行うきっかけを提供することでスポーツを行う可能性がある人が多いことが考えられます。

問 スポーツ等を行った理由



問 スポーツ等を行わない理由

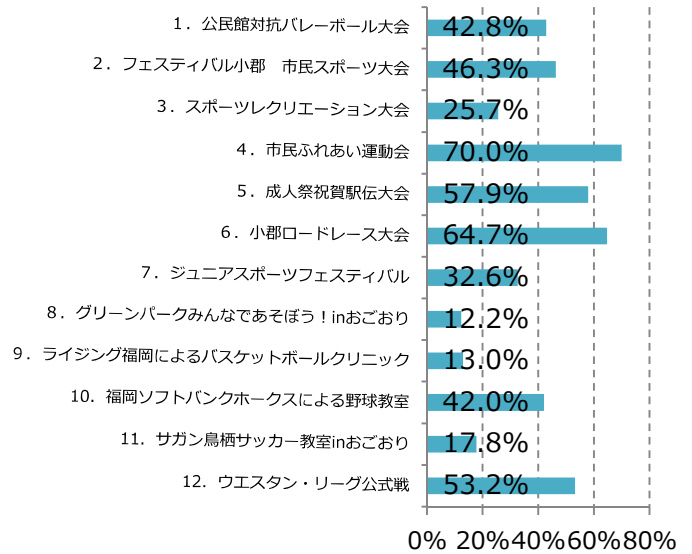


【市が実施しているスポーツ事業に関する傾向】

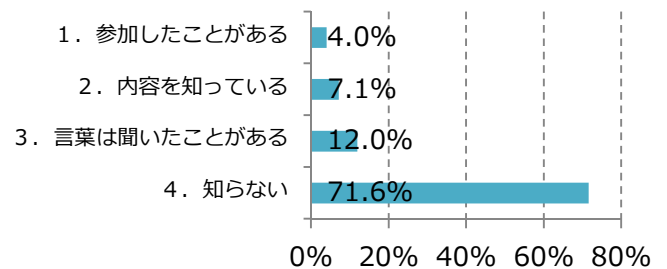
市が主催したスポーツイベントの認知度については、「市民ふれあい運動会」が最も多く、7割の人が知っていることが分かりました。また、「小郡ロードレース大会」や「成人祭祝賀駅伝大会」についても認知度が比較的高い傾向にありました。スポーツイベントの満足度を見ると、全体的に不満という意見は少なく、最も満足度が高いのは、「フェスティバル小郡 市民スポーツ大会」であり、次いで「ウエスタン・リーグ公式戦」が高いという結果でした。参加しなかった理由を見ると、「知らなかったから」が最も多く、また、小郡市の総合型地域スポーツクラブである小郡わいわいクラブの認知度及び参加状況はともに低い結果となり、市が実践しているスポーツ事業の周知活動及び内容の見直しをさらに推進する必要があると考えられます。

市民が考える市のスポーツ推進に必要なことは「スポーツ施設の整備・充実」が最も多く、5割以上の方が回答しています。また、「中高年者のスポーツ活動の推進」も多く、今後の少子高齢化社会を見据えた対応が必要であるとの考えであると思われます。

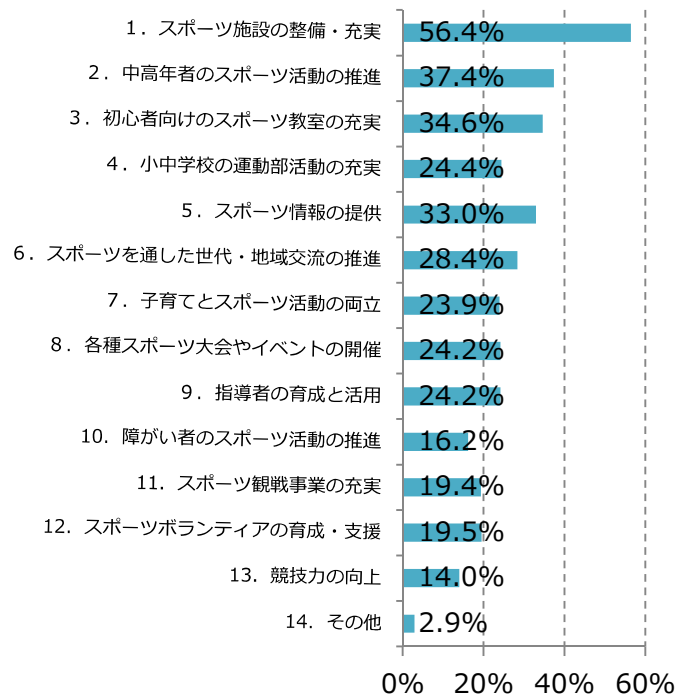
問 スポーツ事業の認知度



問 小郡わいわいクラブの認知度



問 市のスポーツ推進に必要なこと



【スポーツ施設に関する傾向】

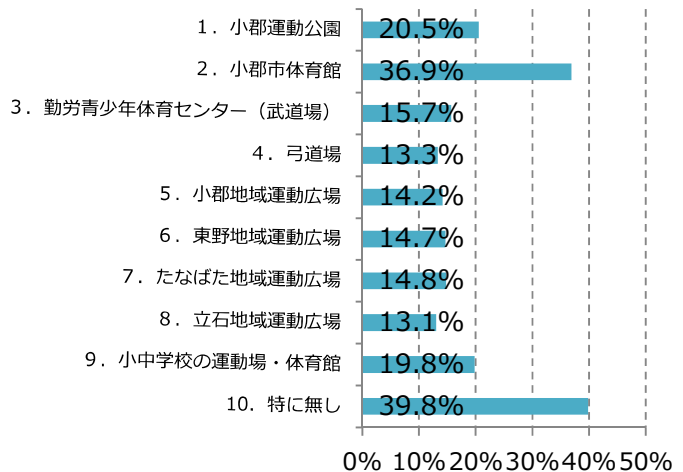
施設の利用度を見ると、「小郡運動公園」が最も多く利用されており、次いで「小郡市体育館」の利用状況も高くなっています。また、小・中学校体育施設の利用も多く、各地域スポーツの核となる施設として、利用されている現状が考えられます。

施設の満足度は、「小郡運動公園」が最も高く、満足度が低い施設は「弓道場」「勤労青少年体育センター（武道場）」

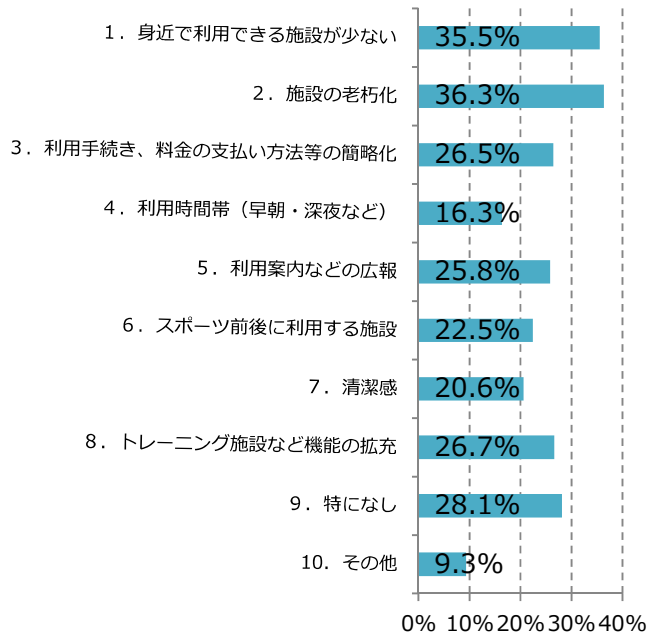
「小郡市体育館」でした。また、改修・整備が必要なスポーツ施設でも「小郡市体育館」について最も意見が挙げられており、具体的には施設全体の老朽化に対する意見が多くありました。

以上のことを踏まえると、利用度の高い小郡市体育館の改修・整備が大きな課題として浮かび上がります。

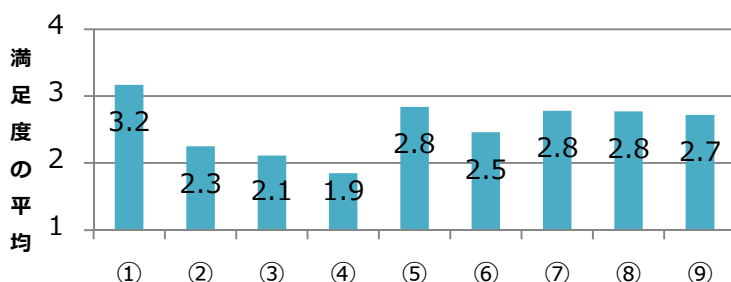
問 改修等が必要と思う施設



問 スポーツ施設に対する不満



問 各施設の満足度



- ①小郡運動公園
- ②小郡市体育館
- ③勤労青少年体育センター（武道場）
- ④弓道場
- ⑤小郡地域運動広場
- ⑥東野地域運動広場
- ⑦たなばた地域運動広場
- ⑧立石地域運動広場
- ⑨小中学校体育施設（体育館、運動場）

※満足度は「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として集計し、点数が高いほど満足度が高くなっています。

■ 結果を踏まえた課題の抽出

市民に対するアンケート調査結果を踏まえた小郡市のスポーツ推進における課題を以下のよう
に整理します。

- ・ スポーツ・運動全般については、関心がある人が多く活動状況は高い。一方で、スポーツ・運動を行っていない人に対しては気軽に運動を行うきっかけを提供することで、市全体のスポーツ人口を底上げする必要があります。
- ・ スポーツ事業については、認知度にバラつきがあり、周知活動や競技種目を見直すことで参加者を増加させる必要があります。
- ・ スポーツ施設については、小郡市体育館をはじめとして、各施設が老朽化していることや大きな大会を実施した場合に観覧するスペースや更衣室の規模が小さいこと等が大きな問題となっており、改修・整備について今後の方針を検討する必要があります。
- ・ 小・中学校の体育施設の利用も多く、中央部に集中しているスポーツ施設を補完する役割を持つこれらの施設について、スポーツを行う場所の提供という観点から改めて位置づける必要があります。
- ・ 総合型地域スポーツクラブ「小郡わいわいクラブ」に対する認知度は低く、認知度向上及び参加を促すための施策を検討する必要があります。

(3) 小・中学生アンケート調査

■ 調査概要

調査期間	平成 26 年 10 月 1 日～10 月 9 日
調査対象	市内の小学 5 年生 620 人、及び中学 2 年生 670 人
調査区域	小郡市内公立小・中学校
配布回収	学校での直接配布、回収
回 答	無記名方式
回 収 率	小学生 96.1%、中学生 90.9%

■ 結果の概要

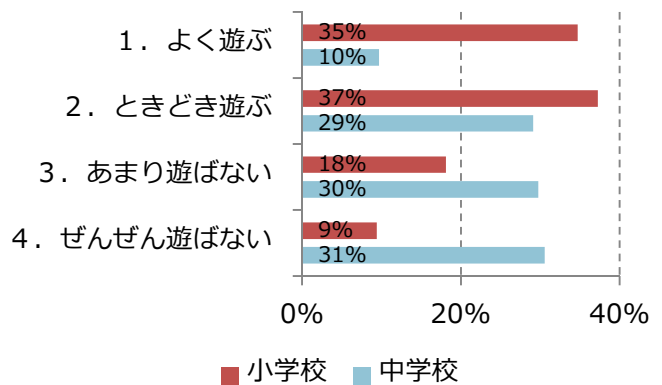
小・中学生に対するアンケート調査結果の概要を以下に示します。アンケート調査の全ての結果は、参考資料を参照ください。

【スポーツとの関係に関する傾向】

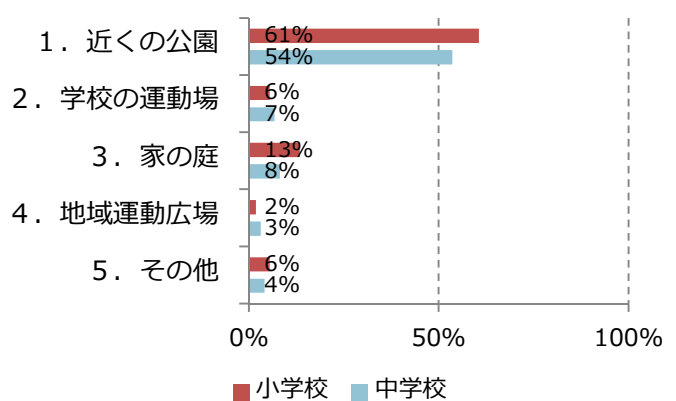
小学生では 70%を越える児童が外で遊んでいますが、中学生では 40%程度と外で遊ぶ割合が低くなっています。遊ぶ場所としては、小・中学生ともに「近くの公園」が最も多くなっている一方で、「学校の運動場」を利用して遊ぶ子どもは少ないことがわかります。また、テレビ・ゲーム・インターネット等を利用する時間は、概ね 1 時間～3 時間程度で、小学生の平均が 2.2 時間、中学生での平均が 2.1 時間となっています。その中で、スポーツをテレビで見るとの回答はともに 6 割を超えており、スポーツに対する興味が高いことがわかります。しかし、スポーツ以外の習い事をしている子どもも多いことがわかりました。

スポーツ・運動の頻度について見ると、小学生は日常的に行っている割合が 8 割を超えており、中学生は「ほぼ毎日」スポーツ・運動をしている割合が 64%となり、小・中学生ともに日常的にスポーツに慣れ親しんでいる現状がわかります。

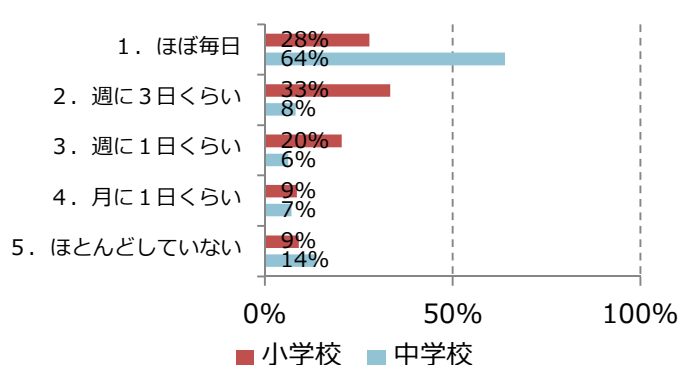
問 外で遊ぶか？



問 どこで遊ぶか？



問 スポーツ等の頻度



【スポーツ・運動を行っている子どもの傾向】

小学生はスポーツクラブや教室で運動やスポーツをしている割合が多く、中学生は部活動で運動やスポーツを行っている割合が最も多くなり、何かしらの団体に所属しながらスポーツ・運動を行っていることが分かります。

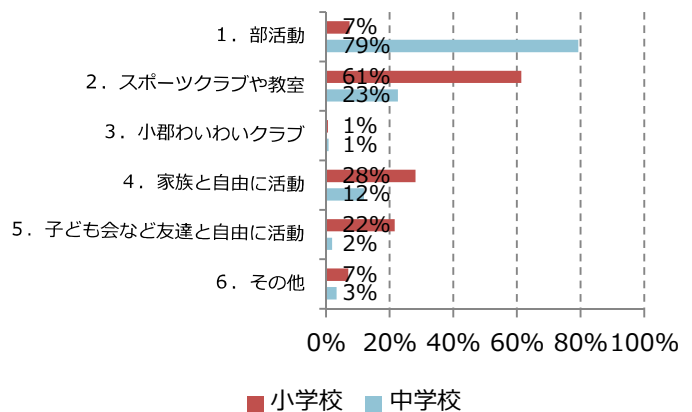
行っている運動やスポーツの内容は、小・中学生で、差異が見受けられ、小学生は水泳、サッカー、キャッチボールが多くなっており、中学生は、突出して多い運動やスポーツがないということが分かりました。

また、小学生、中学生ともに運動やスポーツに満足しているとの回答が多く、どちらも8割を超えています。満足していない理由を見ると、「活動時間が短い」「指導者がこわい」「練習が楽しくない」といった意見が多く挙げられています。

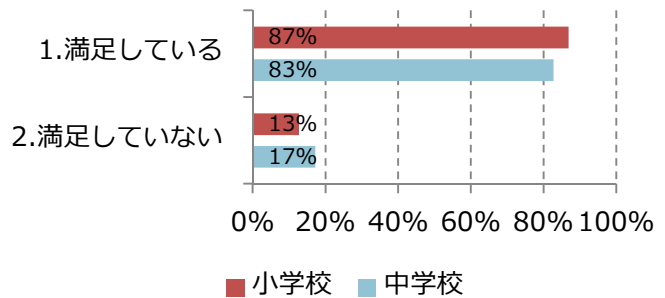
【スポーツ・運動を行っていない子どもの傾向】

運動やスポーツをしていない子どものうち、スポーツをしたいと考えているのは小学生が41%、中学生が32%となり、運動やスポーツをしない理由として最も多く挙げられていたのは、小・中学生ともに「あまり好きじゃない」であり、スポーツ・運動に対する意識が低いことが分かりました。また、中学生では、「勉強や塾でいそがしい」の回答も多くなっており、スポーツを行う機会が少ないことが分かります。

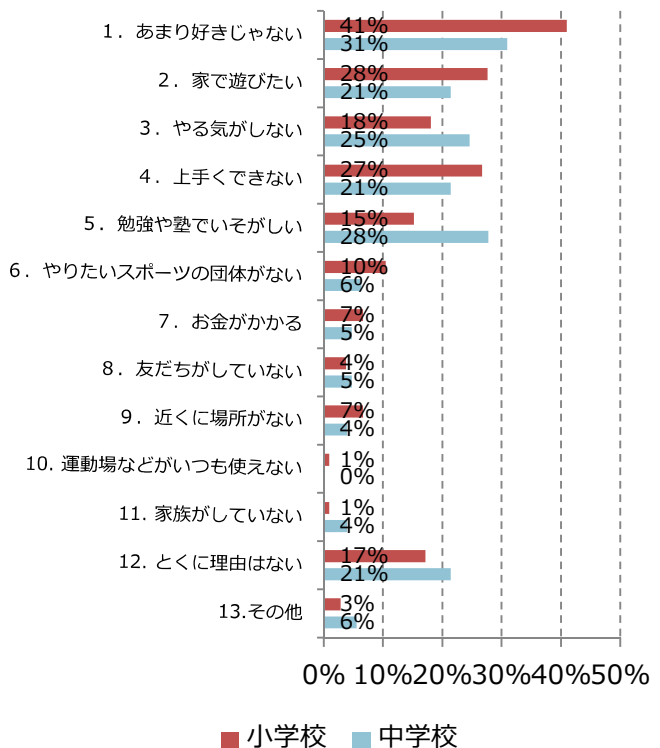
問 どのようにスポーツ等をしているか？



問 スポーツ等の活動に満足しているか？



問 スポーツ等を行っていない理由



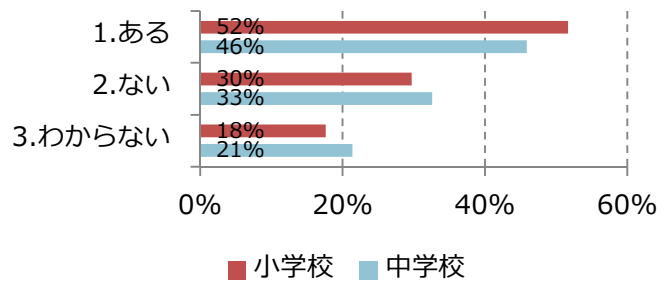
【市が実施しているスポーツ事業に関する傾向】

小郡市の各スポーツイベントに参加したことがある人が多く、小学生が52%、中学生が46%となり、最も多かったのは「市民ふれあい運動会」という結果となりました。しかし、参加率で見ると小学生が25%、中学生が23%であり、全体的に見ると参加率が低いことが分かります。

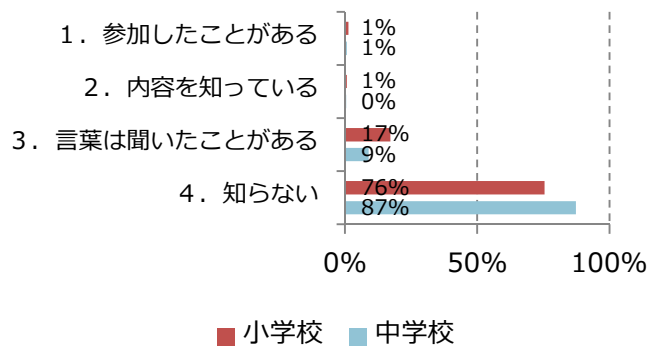
参加したスポーツイベントの満足度は、総じて高く、参加したイベントに対しては好意的に受け取っていることが分かります。

また、小郡市の総合型地域スポーツクラブである小郡わいわいクラブの認知度及び参加状況は小・中学生ともに低い結果となりました。

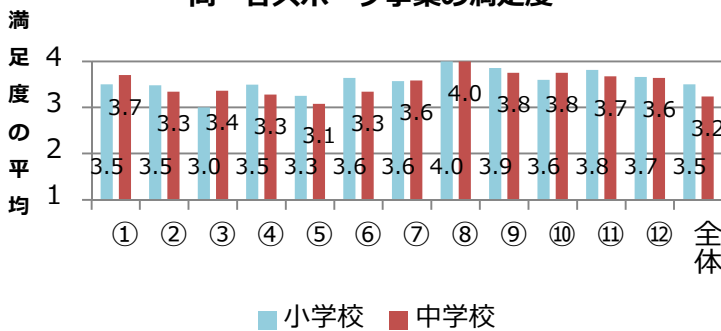
問 スポーツ事業の参加の有無



問 小郡わいわいクラブの認知度



問 各スポーツ事業の満足度



- ① 公民館対抗バレーボール大会
- ② フェスティバル小郡 市民スポーツ大会
- ③ スポーツレクリエーション大会
- ④ 市民ふれあい運動会
- ⑤ 成人祭祝賀駅伝大会
- ⑥ 小郡ロードレース大会
- ⑦ ジュニアスポーツフェスティバル
- ⑧ グリーンパークみんなであそぼう in おごおり
- ⑨ ライジング福岡によるバスケットボールクリニック
- ⑩ 福岡ソフトバンクホークスによる野球教室
- ⑪ サガン鳥栖サッカー教室 in おごおり
- ⑫ ウエスタン・リーグ公式戦

※満足度は「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として集計し、点数が高いほど満足度が高くなっています。

■ 結果を踏まえた課題の抽出

小・中学生に対するアンケート調査結果を踏まえた小郡市のスポーツ推進における課題を以下のように整理します。

- ・ スポーツや運動を行っている子どもは多いですが、更なる子ども世代のスポーツ推進を図るためにスポーツに対する興味を持ってもらう必要があります。
- ・ 市が実践しているスポーツ事業の参加率が低く、周知活動の強化を図ると同時に、内容の見直しなど、子どもの興味を引き出すための改善を行う必要があります。
- ・ 小・中学生についても総合型地域スポーツクラブ「小郡わいわいクラブ」に対する認知度は低く、認知度向上及び参加を促すための施策を検討する必要があります。

(4) 団体ヒアリング調査

■ 概要

調査日	平成26年10月26日、11月1日
調査対象	17団体
場所	小郡市野球場会議室
方法	直接面談

■ 結果の概要

スポーツ団体に対するヒアリング調査結果の概要を以下に示します。

【施設について】

施設については、老朽化や備品不足など各施設の問題点が出されましたが、特に小郡市体育館を利用している団体からの改善要望が多く、その内容は体育館施設の老朽化と規模が小さいという意見が多くありました。また、各競技でよく利用している場所があり、他競技との場所の競合などスポーツ活動を行う場所の不足についても意見が出されました。



【競技人口について】

競技人口については、減っているという団体が多くあり、特にジュニア世代のスポーツ人口が増えておらず、この世代の競技人口の確保及び育成が大きな課題という意見が多くありました。更に、人口減少・少子高齢化といった社会情勢を考慮するべきといった意見もありました。

また、競技人口を増やすための方策として、各団体でチラシ配布などの広報を実践していますが、大きな効果が得られておらず、市に情報発信のサポートを求める意見もありました。

■ 結果を踏まえた課題の抽出

スポーツ団体に対するヒアリング調査結果を踏まえた小郡市のスポーツ推進における課題を以下のように整理します。

- ・ ジュニア世代の育成に対して多く意見が挙げられ、小・中学生のスポーツ・運動をする環境を整える必要があります。
- ・ 指導者や大会運営補助などのスポーツボランティアが不足傾向にあり、増やすための体制の構築などの施策を検討する必要があります。
- ・ スポーツを行う場所についても、各団体が現状ある施設でやりくりをしていますが、不足傾向であり、スポーツや運動の土台となる施設整備が望まれています。

2-3. スポーツ推進に向けた課題

小郡市の特性やスポーツに関する状況を踏まえ、小郡市におけるスポーツ推進に向けた課題を人、活動、仕組み、施設の4つに分類し整理します。

■ 人に関する課題

スポーツ・運動に対するきっかけづくり

市民アンケート調査及び小・中学生アンケート調査結果より、スポーツ・運動を行っている割合は7割と多く、意識が高いことが伺えます。しかし、スポーツ・運動をしていない約3割の人々の運動をしない理由等を見ると、慣れ親しむためのきっかけを提供することが必要であり、まずは市民のスポーツ・運動に対する意識を向上させる必要があります。

少子高齢化に伴うスポーツ人口の減少への対応

本市の高齢化率は、県の平均と比較すると低い方ですが、年々高くなっており、今後も高齢化は進むと考えられます。このような中で、市民アンケートの結果にもスポーツ活動を盛んにするために必要なこととして、中高年者のスポーツ活動の推進が求められています。また、小・中学生がスポーツをする環境を整えることも必要とされています。子どもから高齢者までスポーツに取り組める環境づくりが必要となります。

■ 活動に関する課題

スポーツを行う目的の多様化への対応

近年、スポーツをする目的には身体機能の向上や健康づくりといった目的に加えて、地域コミュニティの形成や世代間交流といった社会的な目的も求められています。本市においても、健康づくり以外にも余暇活動としてスポーツ・運動を行っている人も多くいます。市民がスポーツに取り組む目的が多様化している中で、競技スポーツだけではなく、いつでもどこでも誰でも気軽にできるスポーツ・レクリエーション活動も同時に推進していくことが重要です。

将来を担う子どものスポーツ活動の低迷

本市における小・中学生のスポーツに対する意識は、高い傾向にあります。しかしながら、団体ヒアリング結果を見るとジュニア世代の育成が課題として挙げられています。生涯スポーツの基礎は少年期のスポーツへの関わり方と強く関連します。すべての子どもたちが充実したスポーツ活動に接することが出来る取り組みと支援が重要です。

■ 仕組みに関する課題**スポーツに関する情報発信の強化**

本市には総合型地域スポーツクラブ「小郡わいわいクラブ」がありますが、認知度及び参加率は高くなく活動内容もあまり知られていない状況となっており、本市が実施しているスポーツ事業についても認知度にバラつきがある状況です。また、各スポーツ団体は競技人口が伸び悩んでおり、各々で情報発信をしていますが、効果は芳しくない現状があります。したがって、スポーツを身近に感じ、参加するためのきっかけとして、イベントの周知や各団体の活動状況など、スポーツに関する情報発信を高める仕組みが必要です。

■ 施設に関する課題**スポーツ活動の場の老朽化と不足**

本市のスポーツ施設は、小郡運動公園が屋外競技スポーツの拠点として多くの人々に利用されています。しかし、屋内競技スポーツの拠点となるべき小郡市体育館は老朽化や規模の不足が問題として市民アンケート、団体ヒアリングにおいて挙げられています。また、市の中央部にスポーツ施設が集まっていることから、学校施設の活用ニーズも高く、特に屋内競技スポーツで利用されています。したがって、市全体におけるスポーツ活動の場の位置付けを再整理し、必要に応じてソフトとハードの両面から整備を進めていく必要があります。

第3章 基本理念と基本施策

3-1. 基本理念

小郡市民のスポーツに対する意識は総じて高く、日常的にスポーツ・運動に慣れ親しんでいる状況であり、今後はその質の向上を目指していくことが望まれます。また、スポーツを通じて、小郡市総合振興計画に掲げる将来像である「人が輝き、笑顔あふれる 快適緑園都市・おごおり」を目指し、健康でいきいきとした生活を実現するとともに、スポーツによる市民の多様な交流の場を創出し、笑顔あふれるまちの実現に繋げていくことが大切だと考えます。

そこで、本計画は、「**くらしと密着したスポーツのまち おごおり**」を基本理念とし、くらしと密着したスポーツを通して健康の増進や人と人のつながりを創出し、市民全体が豊かな生活を送ることが可能なまちを将来像として、本市のスポーツを推進します。

基本理念

くらしと密着したスポーツのまち おごおり



3-2. 基本方針

柱1 | ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション機会の充実

市民のスポーツに対する高い意識を更に向上させることや、日常的にスポーツを行なっていない市民に対してはスポーツの持つ役割や効果を発信することと同時に、スポーツ・運動を行いたいという意識の形成を図ります。

少子高齢化や人口減少などの社会変化の中で、スポーツに対するニーズが多様化する中、競技スポーツから誰もがスポーツに関わることができるいわゆる生涯スポーツ活動など、ライフステージに応じたスポーツをする機会の創出を図ります。

柱2 | スポーツを支え、生かす仕組みの充実

スポーツをするためには、指導者、審判員、団体運営者、施設管理者など、スポーツに係わる様々な人材の協力が必要不可欠であることから、その人材育成や活動の活性化を図ります。

スポーツ・運動をしたいという市民に対して、必要な情報を必要な時に取得できるように、メディアやインターネットをはじめとした情報ネットワークの形成を図ります。

市民が気軽に地域でスポーツができる仕組みとしての総合型地域スポーツクラブの活動支援、学校教育や各種団体との連携など、市民のスポーツ環境を支える連携体制づくりを図ります。

柱3 | スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実

屋外スポーツの拠点として小郡運動公園、屋内スポーツの拠点として小郡市体育館を位置付け、機能強化や利用促進を図ります。特に小郡市体育館については、老朽化が進行し、市民のニーズに対して十分なサービスが提供できていない状況を鑑み、財政事情を勘案しながら適切な整備を目指します。

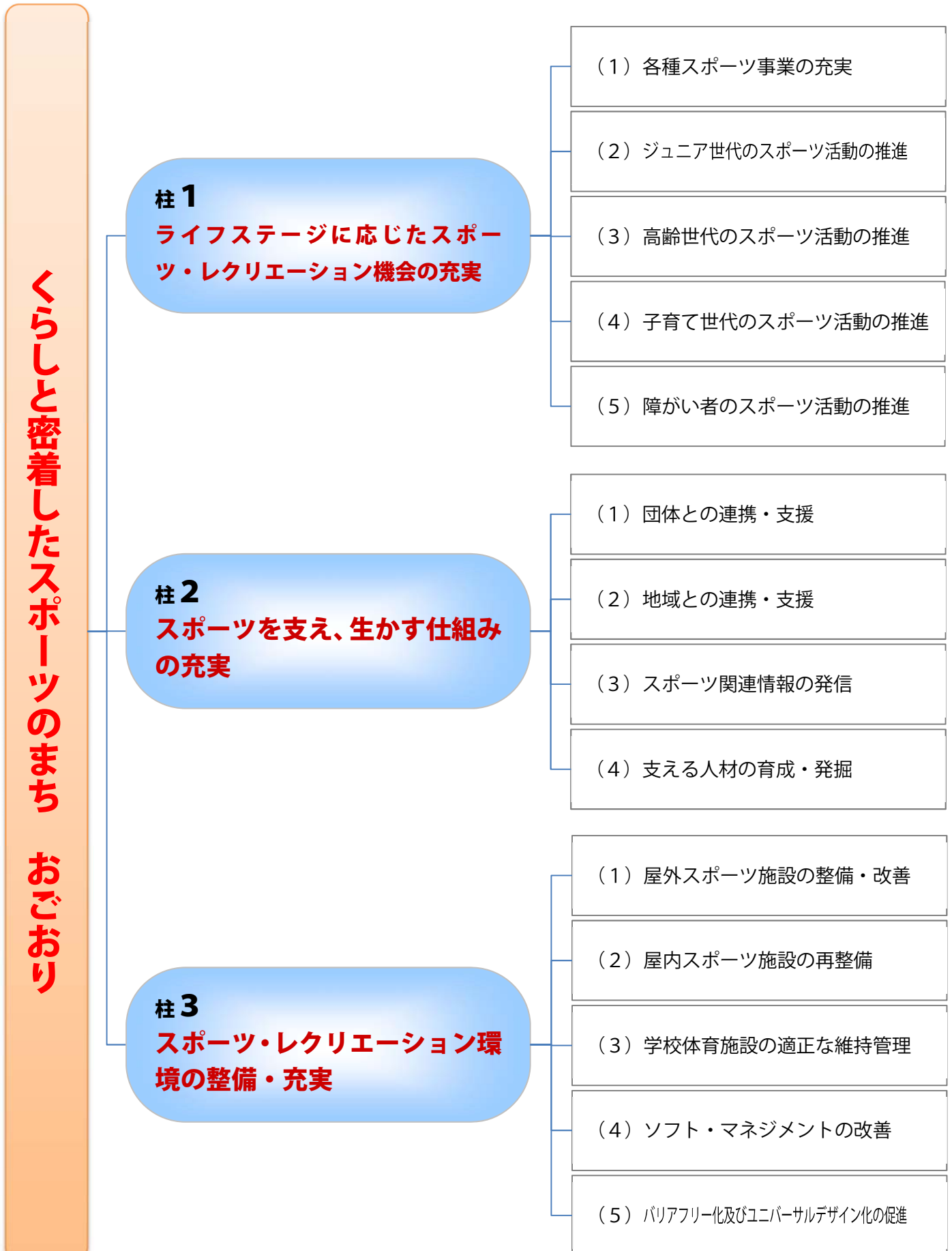
市民が身近な場所でスポーツをできるようにするため、各地域の身近なスポーツ環境として機能している学校施設や近隣市町村との連携を行うなど、スポーツができる場所の拡充を図ります。

3-3. 施策体系

基本理念

基本方針

基本施策



3-4. 基本施策

柱1 | ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション機会の充実

(1) 各種スポーツ事業の充実

スポーツに興味を持つきっかけとして小郡市が行っている各種事業があります。市民アンケートの結果を見てみると、満足度にバラつきがあるため、満足度が低いイベントについては、内容や開催時期の見直しを行なうことによって、事業の充実を図ります。

【主な取り組み】

- 認知度、満足度の高い小郡ロードレース大会は、コースの設定など、リピーターを増やすための方策を行う
- 参加率の高い市民ふれあい運動会やフェスティバル小郡市民スポーツ大会などの満足度を高めるために内容の見直しを図る
- 子どもをはじめ、市民に夢や感動を与え、スポーツに対する関心を高めるため、野球、バスケットボール以外のプロスポーツ選手と触れ合えるイベントの新設を図る

(2) ジュニア世代のスポーツ活動の推進

青少年期は心身の基礎をつくる大切な時期であり、定期的にスポーツを行う習慣を身につけることが重要です。そこで、スポーツに対する様々な情報を提供するなど、学校での体育活動やクラブ・部活動の充実を図ります。

【主な取り組み】

- 学校部活動やクラブ活動と体育協会等との連携を強化することにより、小・中学生のスポーツに対する意識の向上を図る
- 地域にスポーツ推進委員などの外部指導者を派遣し、スポーツの楽しさを伝える活動を行うなど、小・中学生のスポーツに対する意識の向上を図る

(3) 高齢世代のスポーツ活動の推進

今後の高齢化社会を見据え、高齢者がスポーツや運動を通じて地域社会に参加し交流を深め、生きがいを感じられるよう、保健・福祉等の分野と連携を図りながらスポーツを推進します。

【主な取り組み】

- 安全性に配慮したウォーキングコースやジョギングコースなどの選定など、日常的に運動できる環境の構築を図る
- 健康・福祉分野と連携し、小郡わいわいクラブを活用した健康づくりのための運動プログラム等の開発を図る

(4) 子育て世代のスポーツ活動の推進

幼児を対象としたスポーツ活動の推進を図ると同時に、育児中の親が気軽にスポーツや運動を行いやすい環境の整備を図ります。

【主な取組み】

- 現在開催している、かるがも教室などの親子で楽しめるイベントの拡充など、親と子が触れ合う機会の充実を図る
- 子育て世代が安心してスポーツを楽しむことができるように、新規整備するスポーツ施設についてはキッズスペースなどの機能配置を検討する

(5) 障がい者のスポーツ活動の推進

障がい者のスポーツ活動を推進するために、日常的にスポーツ活動ができるような環境の整備に努めます。

また、スポーツ活動を通じて、障がいのある人もない人も互いに尊重し、支えあう共生社会の実現に取り組みます。

【主な取組み】

- 各スポーツ施設のバリアフリー化を促進する
- 障がい者福祉担当課や関係団体と連携を図る



柱2 | スポーツを支え、生かす仕組みの充実**(1) 団体との連携・支援**

生涯スポーツや競技スポーツのほか、スポーツ・レクリエーションなど各分野でスポーツを実施している各団体との連携を深め、地域のスポーツ活動や市民活動を支援します。

【主な取組み】

- 体育協会加盟団体と連携し、各スポーツ競技人口の増加や競技力の向上を果たすため、活動を支援する
- 競技団体同士のつながりを創出し、活動場所や時間に関する調整を行ないやすくなるような環境を整備する
- 総合型地域スポーツクラブ小郡わいわいクラブの育成・支援を行う
- 市が各団体のつなぎ役となり、市全体のスポーツ・レクリエーション活動の総合的な窓口としての役割を担うよう努める

(2) 地域との連携・支援

地域で住民同士が交流し、協働してスポーツを開催実施することで、コミュニティの形成・活性化を図るため、市民が参加しやすい地域単位の事業・イベントを開催します。また、近隣市町村との連携強化についても検討します。

【主な取組み】

- 各自治会等や校区スポーツ振興委員の活動を援助し、地域のスポーツ推進を図る
- 各地域が持ち回りでイベントを行うなど、地域同士の交流が生まれるスポーツイベントを開催する
- 近接市町村と連携し、小郡市独自で開催できない大規模なスポーツイベントの開催や誘致を行う

(3) スポーツ関連情報の発信

市民が必要とする時に、いつでもスポーツについての情報を得ることができるよう、スポーツに関する適切な情報提供を図ります。また、多くの人にとって、スポーツを観ることは最も手軽で身近なスポーツとの関わり方であることから、スポーツ観戦についても情報発信を図ります。

【主な取組み】

- 市が行っている各種スポーツ事業の情報発信を充実させ、日常的にスポーツ・レクリエーションに参加する機会を創出する
- どの場所でどの団体がどのような活動を行っているのかなど、市内でのスポーツ活動の情報を収集し、一元的にホームページ等で発信するなど市民が必要な時に取得できる仕組みの構築を検討する
- 陸上競技場や野球場など観戦設備が整った施設を十分活用し、各スポーツ事業の観戦に関する情報発信に努める

(4) 支える人材の育成・発掘

市民が幅広くスポーツに親しむ機会を提供するため、市民のニーズに対応した指導者の育成を図るとともに、スポーツ活動の企画や運営を支えるスタッフやボランティアの必要性及び活動内容を市民に周知し、活動機会の拡充を図ります。

【主な取組み】

- スポーツ推進委員の研修と活動を促進し、市民のスポーツに対する関心と機会の増進を図るとともに、必要があれば増員を図る
- スポーツ指導者、競技団体の運営や大会の開催等を支援するボランティアなど、人材のリスト化を行ない、スポーツ活動を行う上で指導や支援を必要とする市民とのマッチングを行う
- 市民のスポーツニーズに答えるために、適正な指導ができる人材を研修等により育成する



柱3 | スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実**(1) 屋外スポーツ施設の整備・改善**

屋外スポーツの拠点である、小郡運動公園内の陸上競技場、野球場、テニスコートなどは、一部老朽化が進行している箇所があるため、競技性の維持のために必要な整備・改修を行います。

また、各地域運動広場についても、利用者の安全面や利便性に配慮し、必要な整備を行うなど適正な維持管理に努めます。

【主な取組み】

- 施設を適正に維持管理するための整備に取り組む
- 適正な維持管理を行うにあたって、公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、整備プログラムの策定を検討する

(2) 屋内スポーツ施設の再整備

屋内スポーツの拠点として重要である、小郡市体育館及び小郡市勤労青少年センター（武道場）、小郡市弓道場は施設規模が小さくかつ老朽化していることに加え、バリアフリーについても不完全であり、また観覧席もないなど、現在のスポーツニーズに対応できていないことから、今後の屋内体育施設の拠点となるよう総合体育館の整備に向けて検討します。

【主な取組み】

- 老朽化が進行している小郡市体育館及び小郡市勤労青少年体育センター（武道場）、小郡市弓道場については、市民や利用団体のニーズに即した施設となるよう、総合体育館の整備に向けて検討する

(3) 学校体育施設の適正な維持管理

地域スポーツの拠点として位置付けられる各小・中学校の体育施設は、施設管理部署との連携により、適正な維持管理に努めます。

【主な取組み】

- 各小・中学校の体育館、武道場等は、利用者の安全面や利便性に配慮した適正な維持管理に努める

(4) ソフト・マネジメントの改善

市民がスポーツに親しめる場を提供するために、利用方法等の改善に努めます。

【主な取組み】

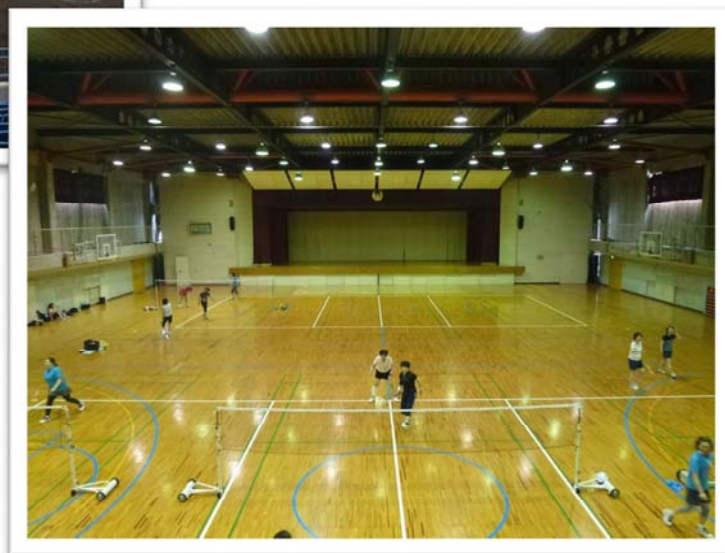
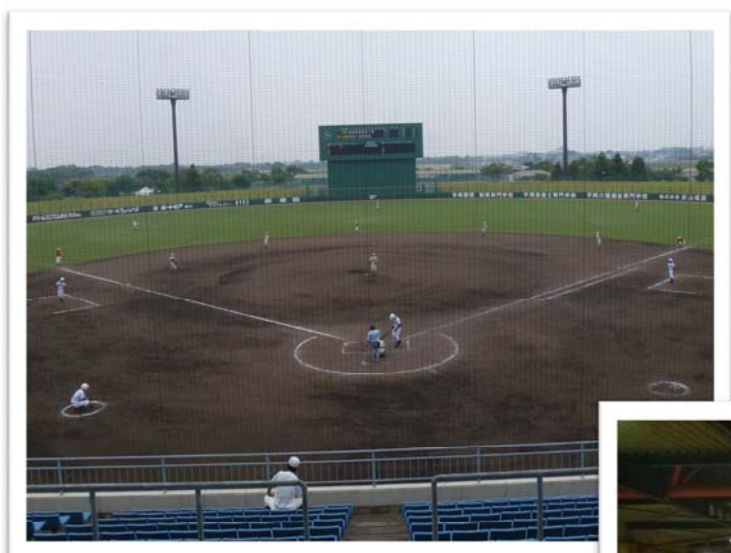
- 利用申し込みの簡素化や利用方法等の見直しにより、多くの市民が利用しやすい施設づくりに努める

(5) バリアフリー化及びユニバーサルデザイン化の促進

施設のバリアフリー化を推進するとともに、ユニバーサルデザインの観点に基づき、全ての人々が利用しやすいスポーツ環境整備を推進します。

【主な取組み】

- 既存施設については、バリアフリー化を促進する
- 今後新規に整備する施設は、ユニバーサルデザインの観点に基づき整備を行う





市民ふれあい運動会



小郡ロードレース大会



ライジング福岡によるバスケットボールクリニック



帆足和幸選手によるふれあい教室



グリーンパークみんなであそぼう！in おごおり



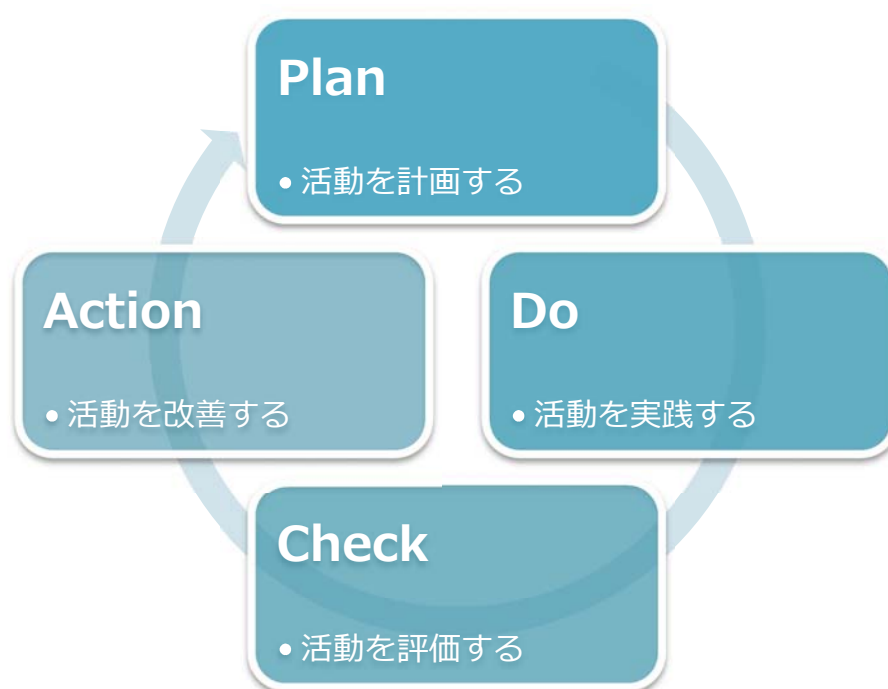
ウエスタン・リーグ公式戦

第4章 計画の推進について

4-1. 計画の推進と進行管理

(1) 推進体制の整備

本計画は、スポーツ振興課を事務局とし、スポーツを通して小郡市の活性化を推進していくため、関係各課と情報の共有や、連携を図りながら取組みを推進します。本計画で掲げた市民のスポーツ推進に関する各施策については、PDCA サイクル（計画管理のためのサイクル）により、点検や評価を行うことで計画の進捗状況を把握し、実効性を確保します。



(2) 計画の進行管理

本計画は、原則として市の総合振興計画における施策評価制度の活用やスポーツ推進審議会を設置し、その中でチェックを行ないながら、本計画の各種施策や事業について点検を行っていきます。

また、計画の見直しにあたっては、スポーツ推進審議会の意見を聞きながら社会情勢の変化など、必要に応じて見直しを行っていきます。

(3) 市民、団体等との連携・協働

市民が日常的にスポーツに取り組めるよう、意識啓発活動を推進するとともに、誰もが参加しやすい環境づくりを進めます。また、統計データの収集や、定期的な市民アンケートの実施などにより、市民ニーズを把握した上で計画の改善などに活かします。

また、より一層のスポーツ活動を推進するため、スポーツに取り組む各種団体の自主的な活動を支援するとともに、各種団体と連携した取組みを積極的に実施します。



フェスティバル小郡 グラウンドゴルフ大会



フェスティバル小郡 ソフトボール大会



ジュニアスポーツフェスティバル スカイボール



ジュニアスポーツフェスティバル ドリームボール



ジュニアスポーツフェスティバル セタハンドゴルフ



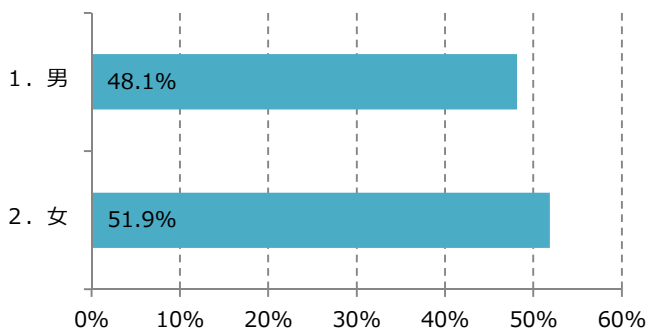
スポーツレクリエーション大会 ターゲット・バード・ゴルフ

参考 1 市民意識調査結果

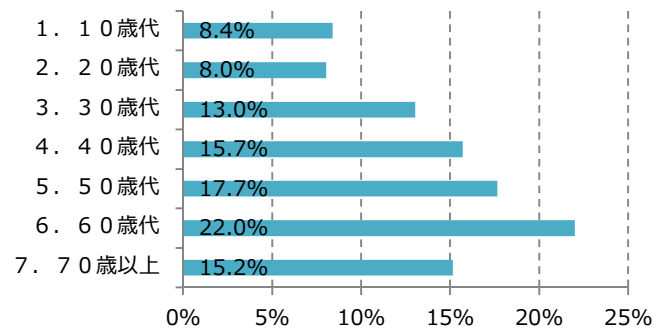
1. 無作為抽出、施設利用者、団体に対するアンケート調査結果

対象	数量	小計
無作為	756	1,102
施設利用者	153	
体育協会加盟団体	193	

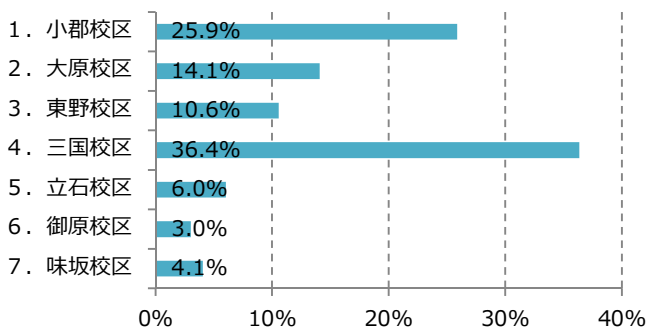
性別



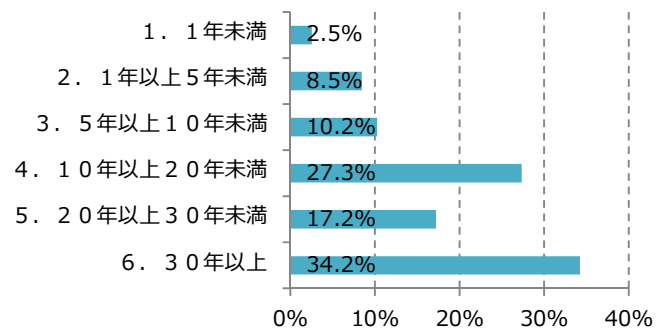
年齢



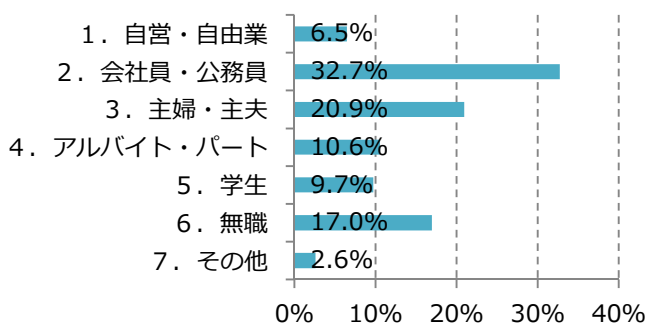
お住まいの地域



居住年数

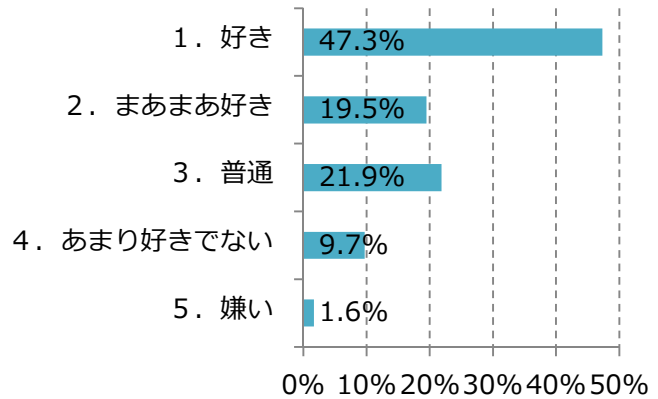


職業



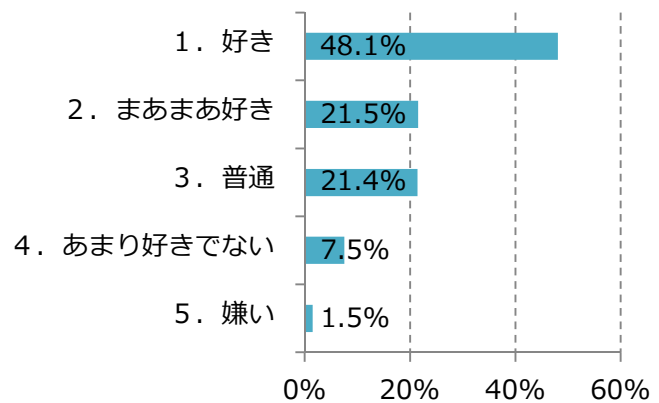
問5. 運動やスポーツをすることが好きか？

「1. 好き」、「2. まあまあ好き」の合計が過半数を超え、運動やスポーツに対して好意的な人が多いことが分かります。



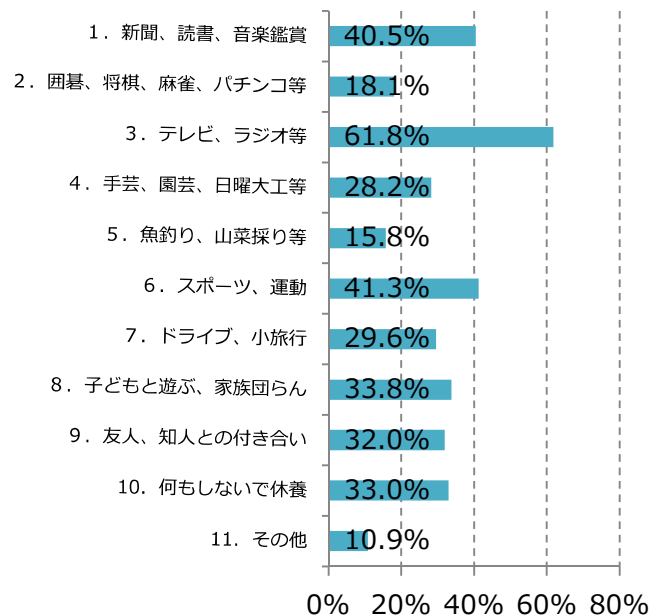
問6. スポーツを観戦したり、テレビで見たり、ラジオで聞いたりすることが好きか？

「1. 好き」、「2. まあまあ好き」の合計が過半数を超え、スポーツの観戦や聴講に対して好意的な人が多いことが分かります。



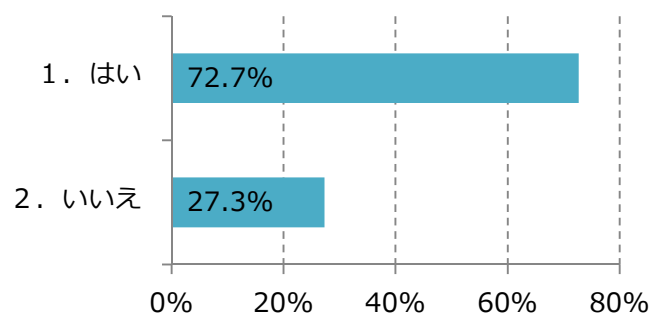
問7. 休日や仕事終わりに主に何をしているか？（3つ回答）

「3.テレビ、ラジオ等」が最も多く、全回答者の61.8%を占めています。次いで多いのが、「6. スポーツ、運動」であり、休日等の余暇時間にスポーツ、運動を行っている人が比較的多いことが分かります。



問8. この1年、運動やスポーツをしたか？

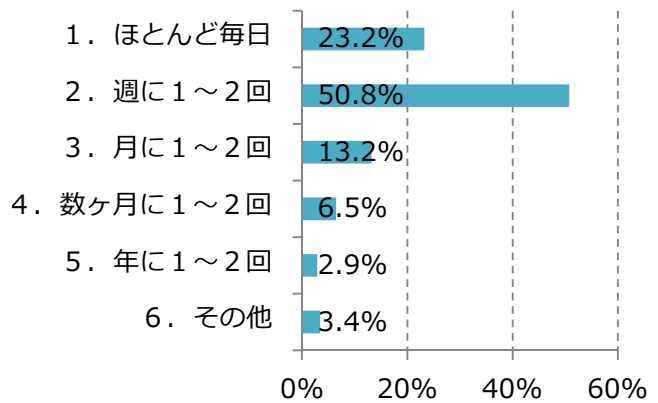
「1.はい」の回答が70%を超えており、何らかの運動、スポーツをした方が多いことが分かります。



【運動・スポーツをした人に対する質問】

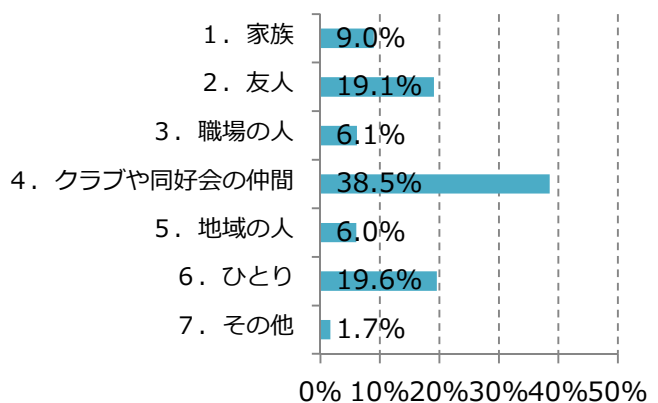
問 9. どのくらいの頻度で運動やスポーツをしたか？

「2.週に1~2回」の回答が最も多く、約50%となっています。また、次いで多いのが「1.ほとんど毎日」であり、過去1年間で運動、スポーツを行った人は日常的にスポーツに慣れ親しんでいることが分かります。



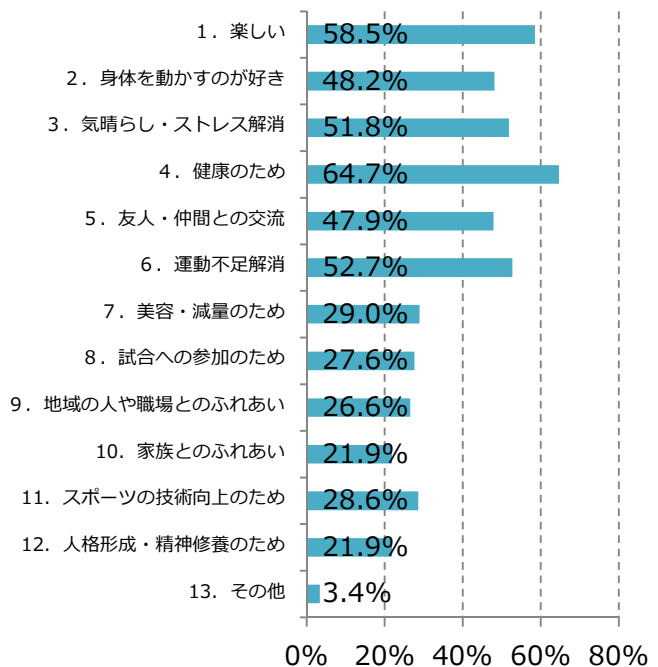
問 10. 運動やスポーツを行うとき主に誰と一緒にいるか？

「4.クラブや同好会の仲間」が最も多く、38.5%をとっています。また、一人でスポーツを行っている人も多くいることが分かります。



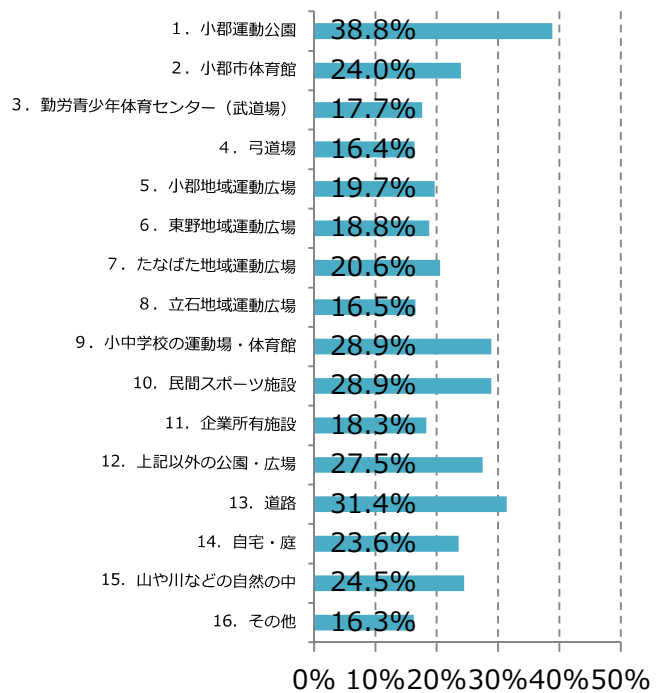
問 11. 運動やスポーツを行ったのはどのような理由か？（複数回答）

運動やスポーツを行った理由は、「4.健康のため」が最も多く64.7%であり、「6.運動不足解消」も多く、総じて健康に対する意識が高いため、運動やスポーツを行っている人が多いことが分かります。また、「1.楽しい」「3.気晴らし・ストレス解消」の意見も多く、余暇活動として運動やスポーツを行っている人も多いことが分かります。



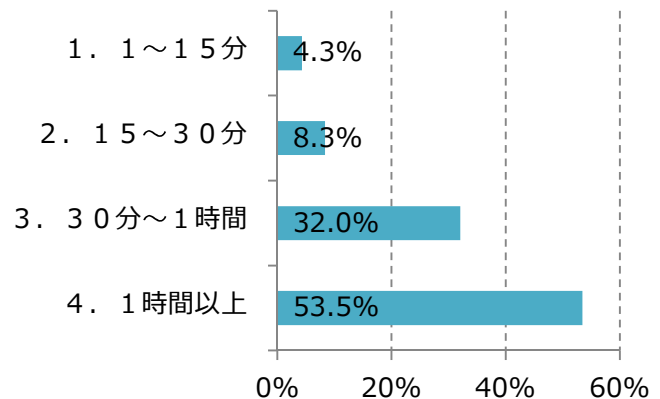
問12. 運動やスポーツを行う場所は主にどこか？（複数回答）

市の運動施設の中心である「1.小郡運動公園」が最も多い回答数でした。また、「13.道路」や「12.公園・広場」といった回答も多く、専門的なスポーツ施設だけでなく、市内の様々な場所で運動やスポーツを行なっていることが分かります。



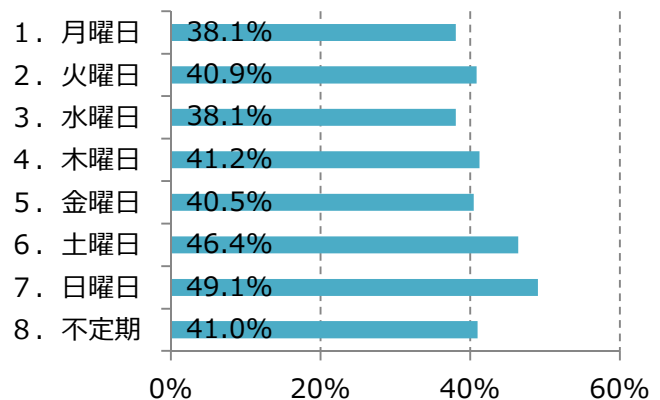
問13. 運動やスポーツを行う時間は1日平均どのくらいか？

「4.1 時間以上」の回答が過半数を超え、ある程度まとまった時間を取り、運動やスポーツを行っていることが分かります。



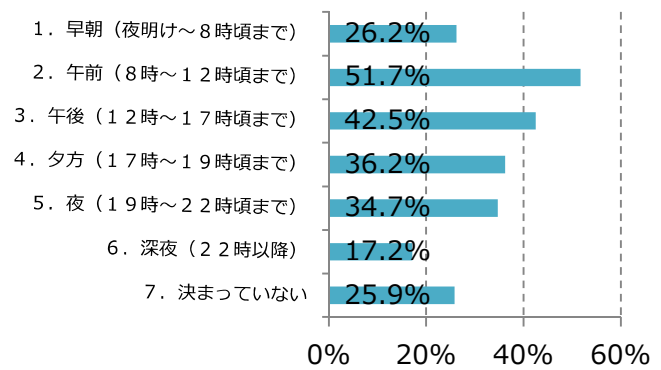
問14. 運動やスポーツをよく行う曜日はいつか？（複数回答）

運動やスポーツを行う曜日については、週末に大きく偏っているといったことがなく、市全体で見ると、日常的に運動やスポーツが行なわれていることが分かります。



問15. 運動やスポーツを行う時間帯はいつか？（複数回答）

「2. 午前（8～12 時頃まで）」が最も多い結果となりました。



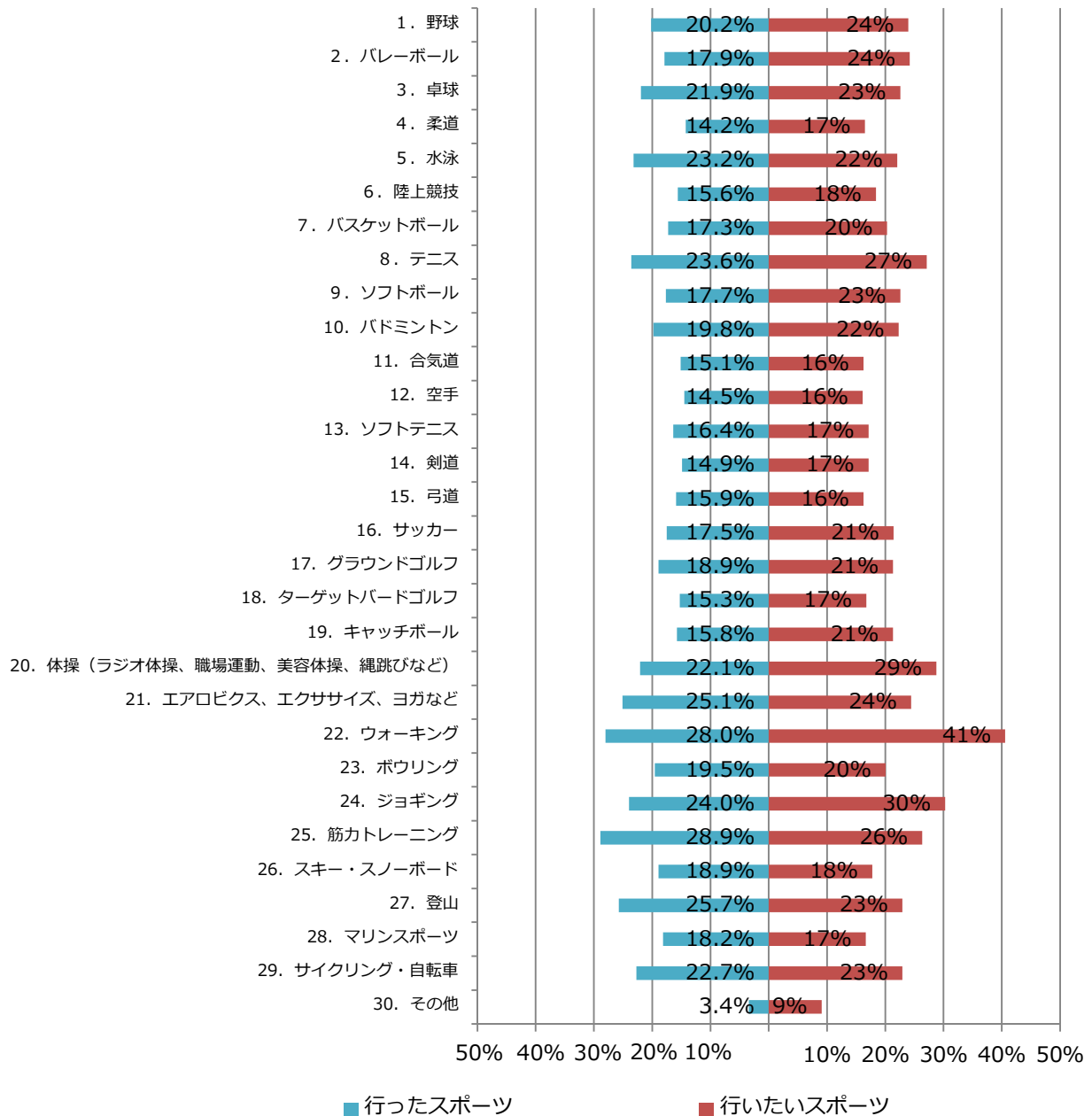
問16. どのような運動やスポーツを行なったか？行ないたい運動やスポーツは何か？（複数回答）

【行った運動・スポーツ】

行った運動・スポーツは、「22.ウォーキング」や「25.筋力トレーニング」が比較的多く、専門の用具や場所が必要ない活動を行っていることが分かります。

【行いたい運動・スポーツ】

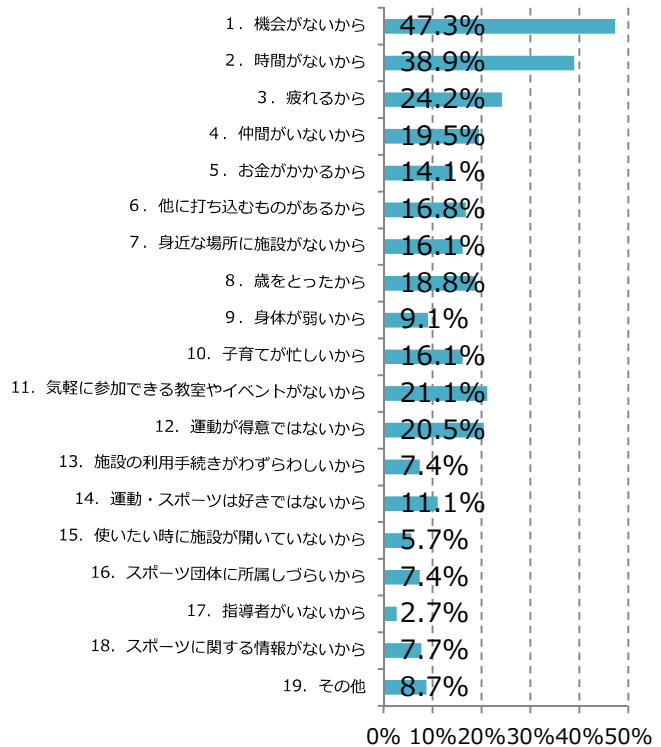
行いたい運動・スポーツは、「22.ウォーキング」が最も多く 41%でした。



【運動・スポーツをしていない人に対する質問】

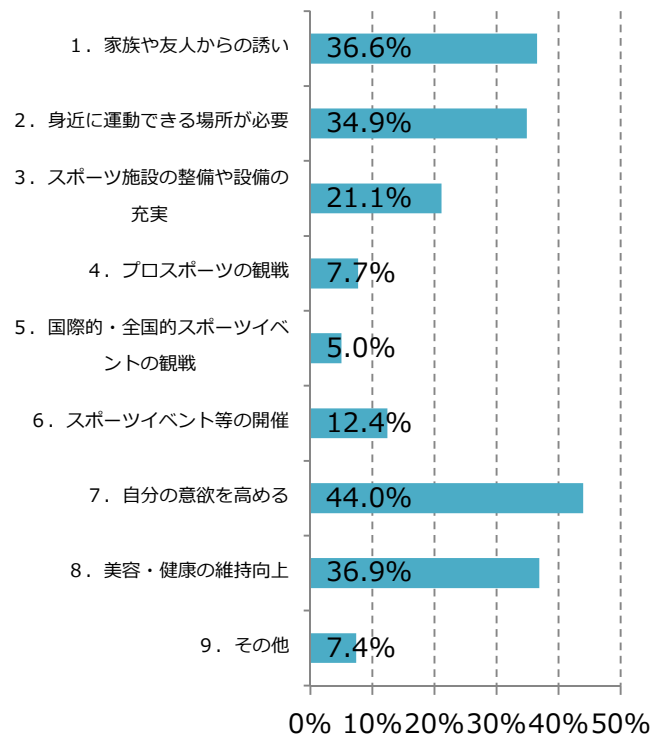
問17. 1年間スポーツを行なわなかった理由は何ですか？（複数回答）

「1.機会がないから」が最も多く 47.3%であり、次いで「2.時間がないから」が 38.9%で多くなっています。これは、運動・スポーツに対する意識はあるが、きっかけが少ないなどの要因で、運動・スポーツを行なっていない現状が分かります。



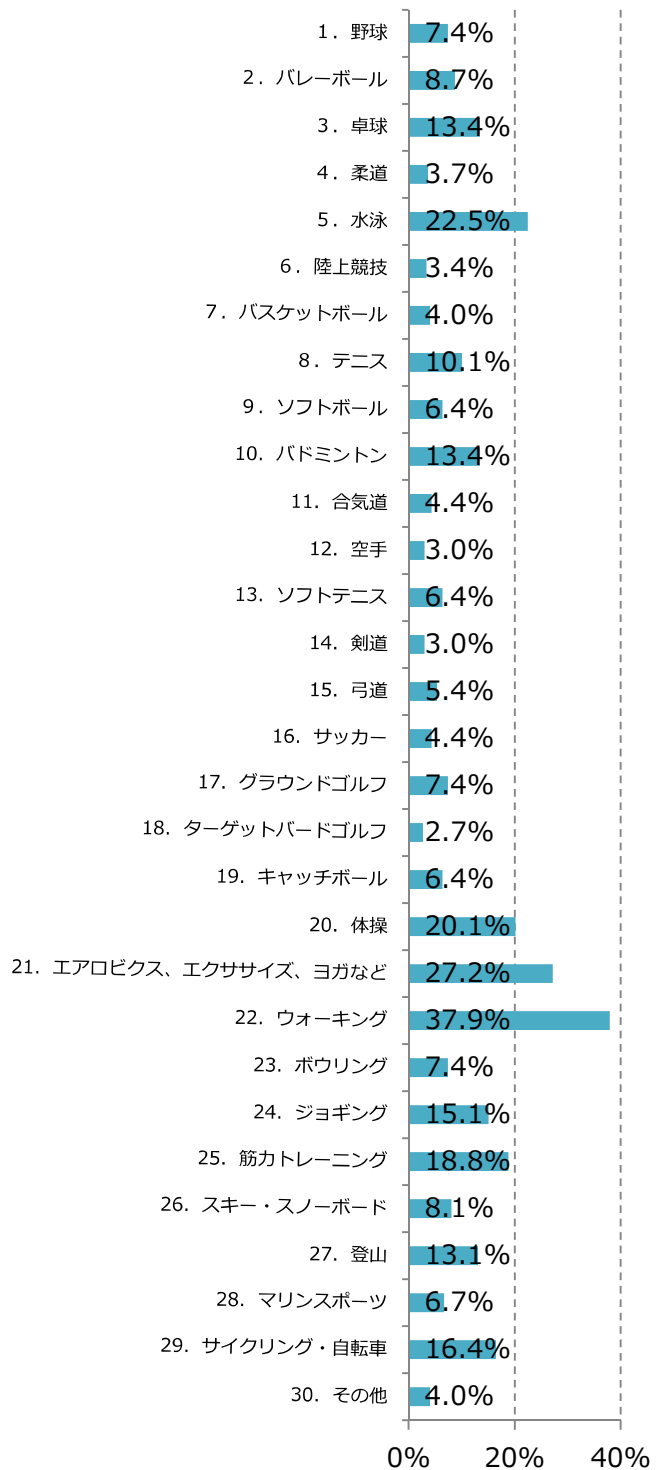
問18. 運動やスポーツするためにはどのようなきっかけが必要か？（複数回答）

「7.自分の意欲を高める」が最も多く 44.0%となっています。また、「1.家族や友人からの誘い」が 36.6%と高くなっています。この2点を踏まえると、きっかけを提供することでスポーツを行う可能性がある人が多いことが分かります。



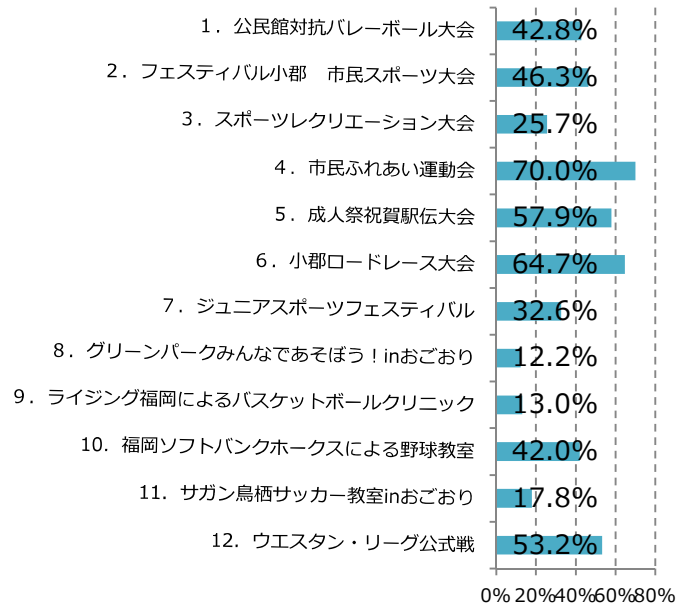
問19. 今後行ないたい運動やスポーツは何か？（複数回答）

「22.ウォーキング」や「21.エアロビクス、エクササイズ等」が多くなっており、運動・スポーツを行なっていない人は気軽なスポーツから始めることを望んでおり、またこれらのスポーツが健康増進に寄与することも関係していると考えられます。



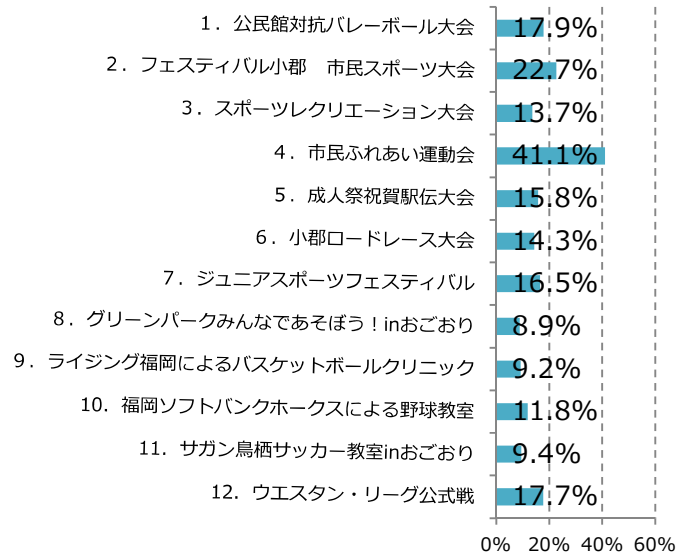
問20. 小郡市が主催した下記スポーツイベントを知っているか？（複数回答）

「4.市民ふれあい運動会」が最も多く、7割の人が、知っていることが分かりました。また、「6.小郡ロードレース大会」や「5.成人祭祝賀駅伝大会」等の認知度も高いことが分かりました。



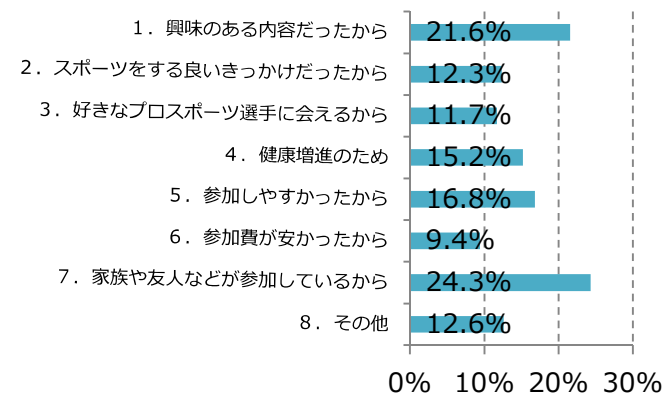
問21. 小郡市が主催したスポーツイベントに参加したことがあるか？（複数回答）

問20と同様に「4.市民ふれあい運動会」が最も多く、全回答者の41.1%が参加したことがあるとの回答でした。その他のイベントについては、知っているが、参加はしたことがないという現状が考えられます。



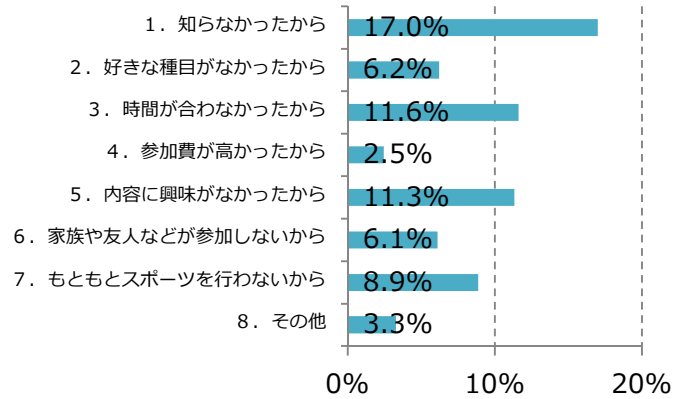
問22. なぜスポーツイベントに参加しようと思ったか？（複数回答）

スポーツイベントに参加した理由は「7.家族や友人が参加している」が最も多く、一人で参加するのではなく、誘い合いながらイベントに来ていることが分かります。



問23. スポーツイベントに参加しなかった理由は何か？（複数回答）

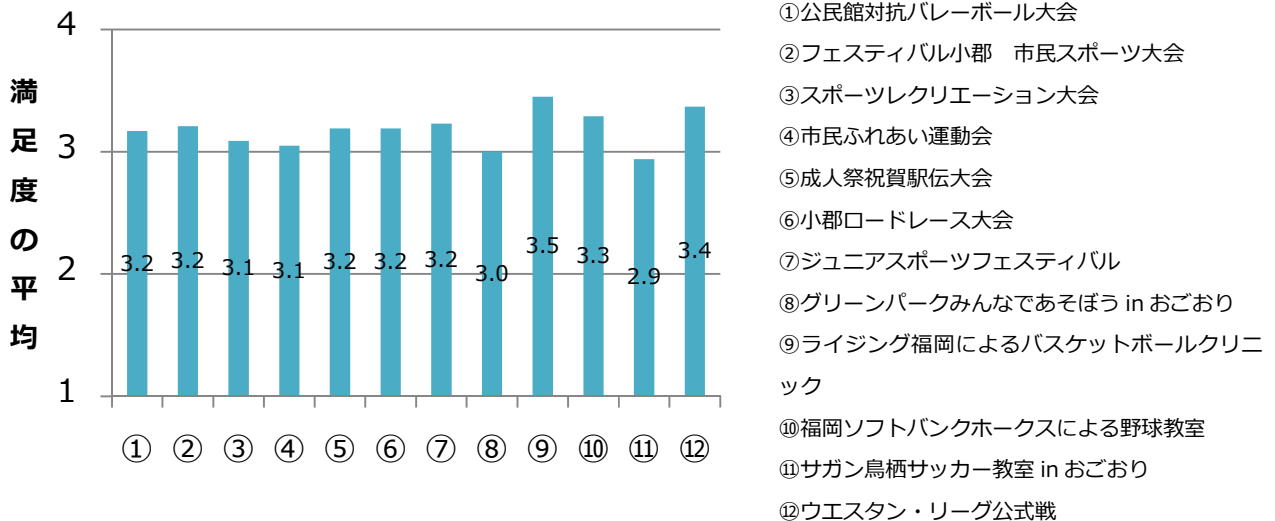
「1.知らなかったから」が最も多く、イベントの周知活動をさらに推進する必要があると考えられます。また、「3.時間が合わなかった」との意見も多く挙げられています。



問24. 参加したスポーツイベントの満足度はどうか？

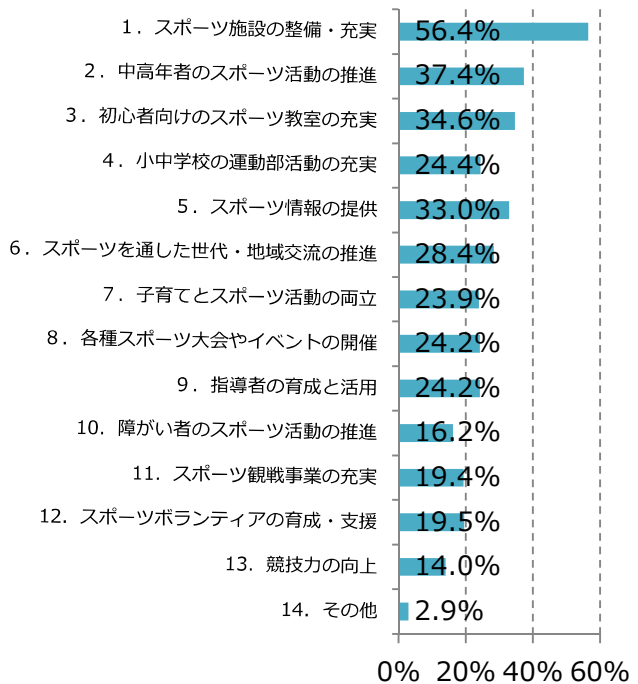
スポーツイベントの満足度を見ると、全体的に不満という意見は少なくなっています。最も満足度が高いのは、⑨ライジング福岡によるバスケットボールクリニックであり、次いで⑫ウエスタン・リーグ公式戦が高いという結果でした。

※満足度は「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として集計し、点数が高いほど満足度が高くなっています。



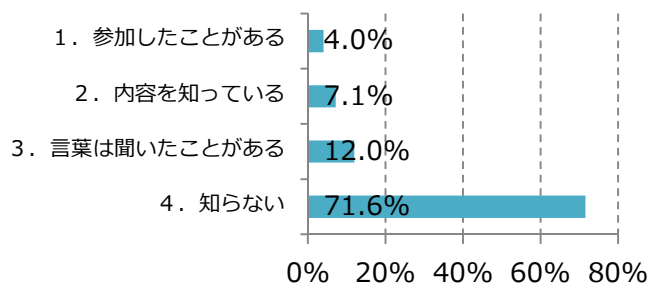
問25. 市のスポーツ活動を盛んにするために必要なことは何か？（複数回答）

市民が考える市のスポーツ推進に必要なことは、「1. スポーツ施設の整備・充実」が最も多く、56.4%の人が回答しています。また、「2. 中高年者のスポーツ活動の推進」も多く、今後の少子高齢化社会を見据えた対応が必要であるとの考えであると思われます。



問26. 総合型スポーツクラブ「小郡わいわいクラブ」を知っているか？

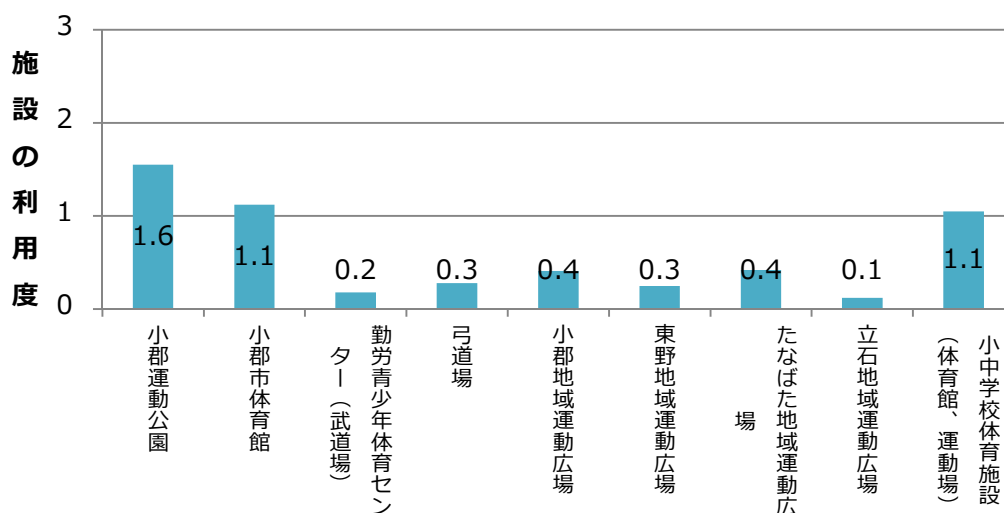
小郡わいわいクラブの認知度は、「4. 知らない」が71.6%であり、認知度が低いことが分かりました。



問27. 利用したことがあるスポーツ施設はどこか？頻度はどのくらいか？

施設の利用度を見ると、小郡運動公園が最も多く利用されていることが分かります。次いで、小郡市体育館の利用状況も高いことが分かります。また、小中学校体育施設の利用も多く、各地域スポーツの核となる施設として、利用されている現状が考えられます。

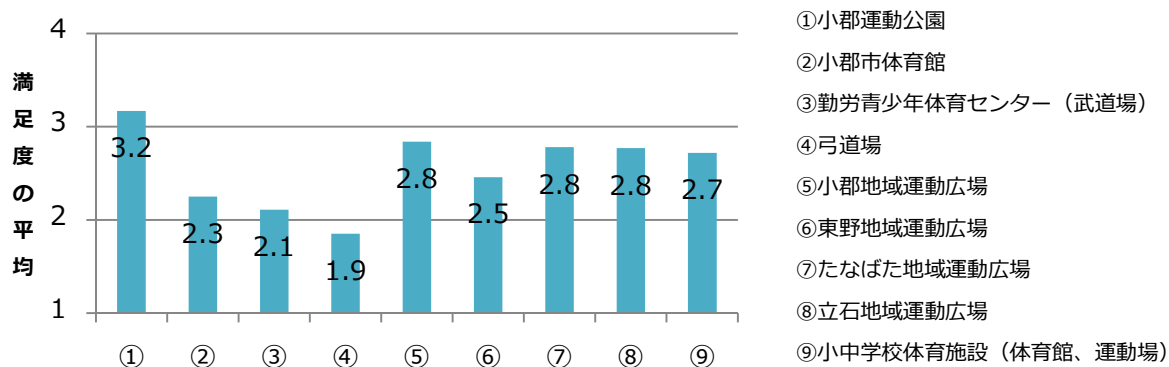
※利用度は「ほぼ毎日」を5点、「週に1~2回」を4点、「月に1~2回」を3点、「数ヶ月に1~2回」2点、「年に1~2回」を1点、「使ったことがない」を0点として集計し、点数が高いほど利用頻度が高くなっています。



問28. それぞれの施設の満足度はどうですか？

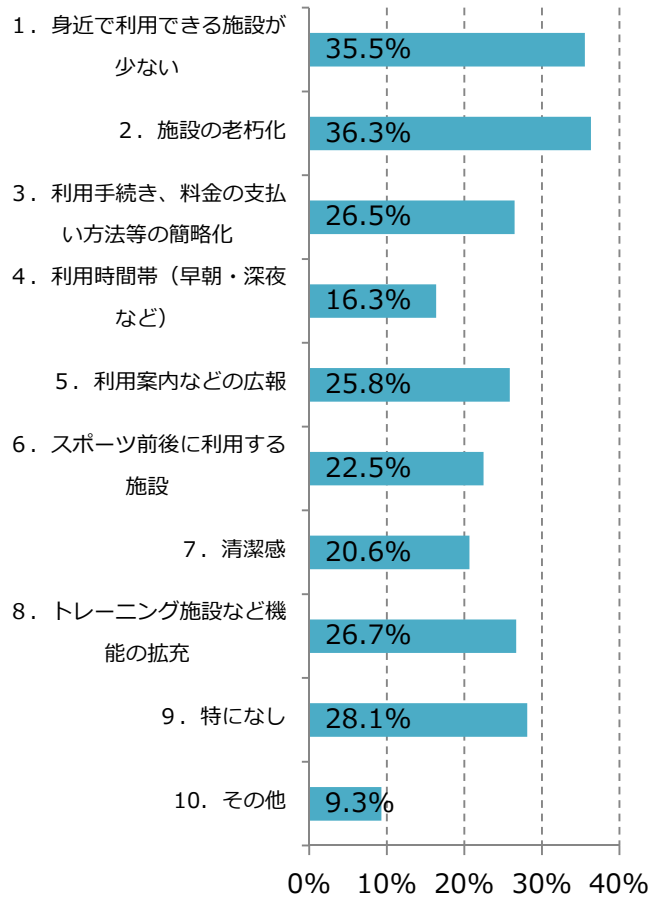
施設の満足度は、①小郡運動公園が最も高い結果となりました。最も満足度が低い施設は、④弓道場であり、次いで③勤労青少年体育センター（武道場）、②小郡市体育館であり、不満が多く意見として挙げられています。

※満足度は「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として集計し、点数が高いほど満足度が高くなっています。



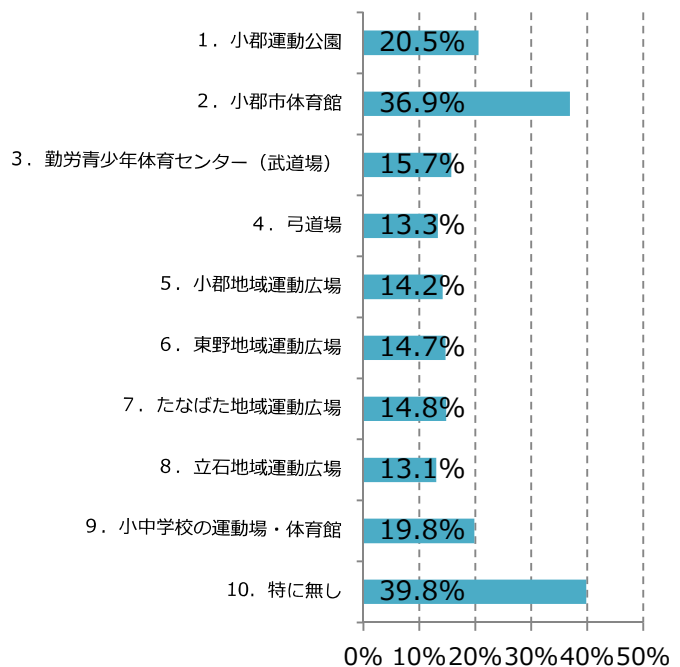
問29. 市のスポーツ施設について不満に感じていることは何か？（3つ回答）

「2.施設の老朽化」に対する意見が最も多く、次いで「1.身近で利用できる施設が少ない」との結果となりました。また、「8.トレーニング施設などの機能の拡充」を望む意見も多く、全回答者の26.7%が意見として挙げています。



問30. 現在、小郡市にあるスポーツ施設で改修や整備が必要と思うスポーツ施設は何か？（複数回答）

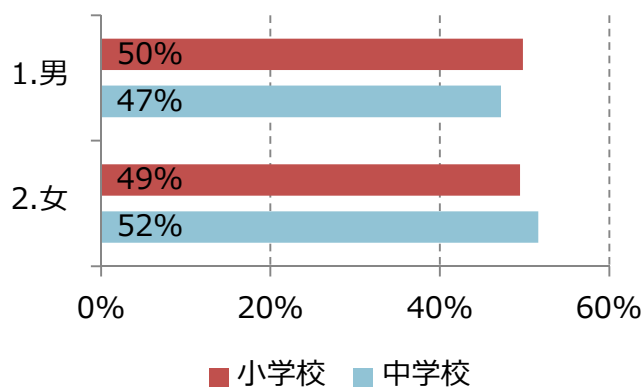
「2.小郡市体育館」が最も多く、全回答者の36.9%が改修や整備が必要と考えていることが分かります。



2. 小中学生に対するアンケート調査結果

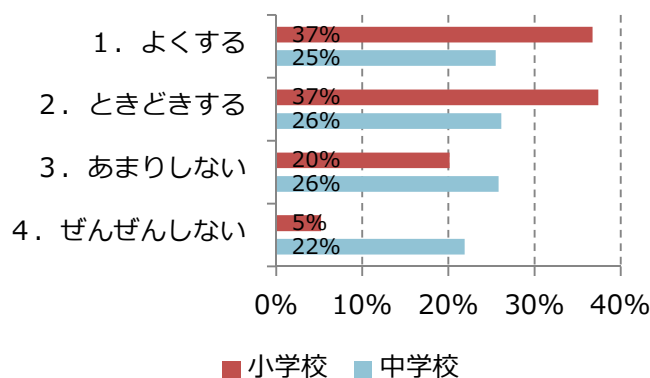
対 象		数 量	各小計 (1)	各小計 (2)
小 学 校	立石小学校	27	596	1,205
	小郡小学校	116		
	大原小学校	57		
	三国小学校	139		
	味坂小学校	23		
	御原小学校	16		
	東野小学校	45		
	のぞみが丘小学校	173		
中 学 校	立石中学校	29	609	
	小郡中学校	113		
	大原中学校	141		
	宝城中学校	32		
	三国中学校	294		

問 1. 性別は？



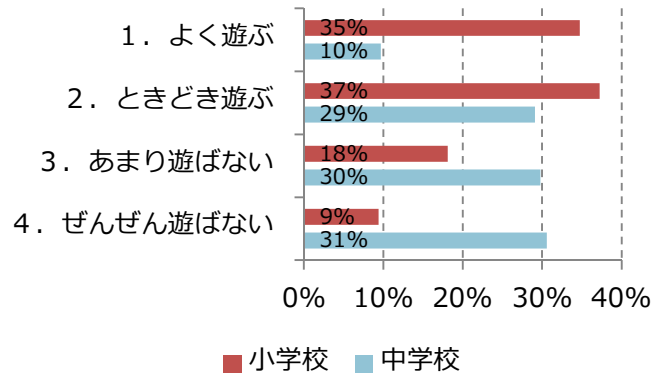
問 2. 自由時間にスポーツや運動をするか？

小学生、中学生ともに自由時間にスポーツや運動をする割合が過半数を超えています。また、小学生の方が全体的に自由時間にスポーツや運動をする割合が高い結果となりました。



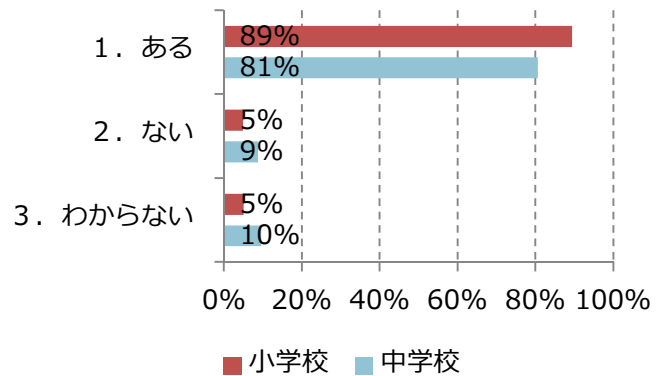
問3. 外で遊ぶか？

小学生は、外で遊んでいる割合が高く、70%を超えています。中学生は、外で遊ぶ割合が低くなっています。



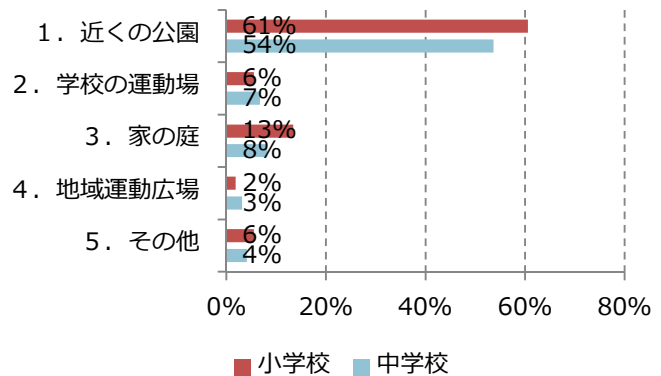
問4. 外で遊べるところはあるか？

外で遊べる場所は「1.ある」と答えた人が非常に多く、小学生は89%、中学生は81%となりました。



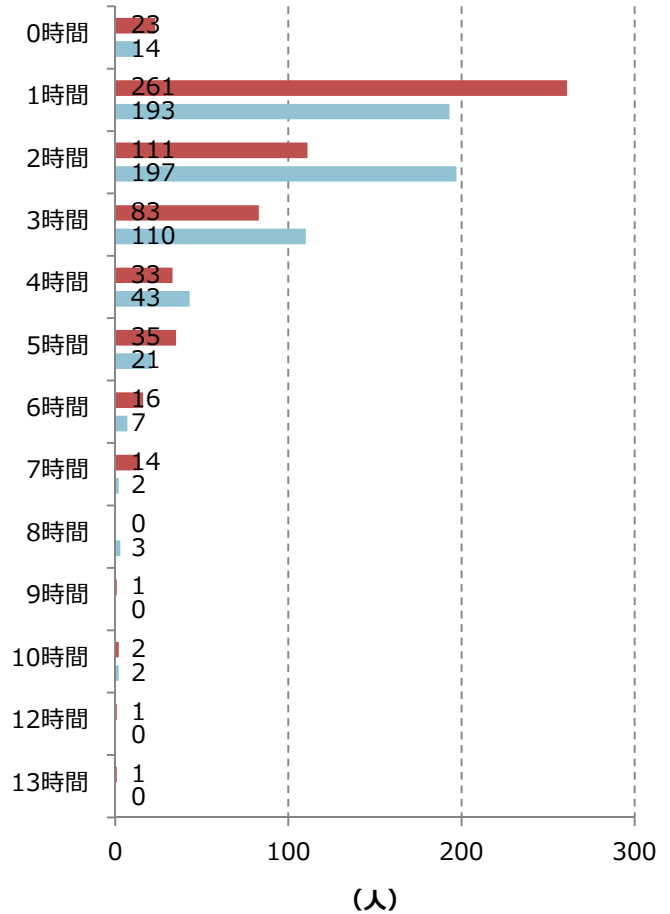
問4. どこで遊んでいるか？

遊んでいる場所は、「1.近くの公園」が最も多く、小学生で61%、中学生で54%となりました。また、学校の運動場で遊んでいる割合は低いことが分かりました。



問5. テレビ・ゲーム・インターネット等をどのくらいの時間しているか？

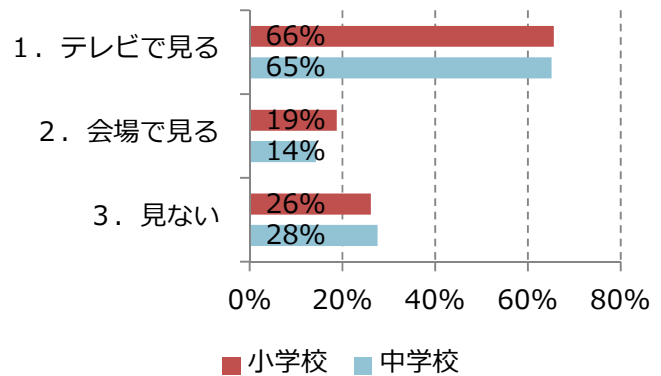
概ね1時間～3時間に回答が集中し、小学生の平均が2.2時間、中学生の平均が2.1時間となりました。



■ 小学校 ■ 中学校

問6. スポーツを見るか？

「1.スポーツをテレビで見る」と答えた人が小学生、中学生ともに多く、約65%となりました。また、「2.会場で見る」と答えた人は、小学生で19%、中学生で、14%となりました。



■ 小学校 ■ 中学校

問6. 良く見るスポーツの名前（小学校）

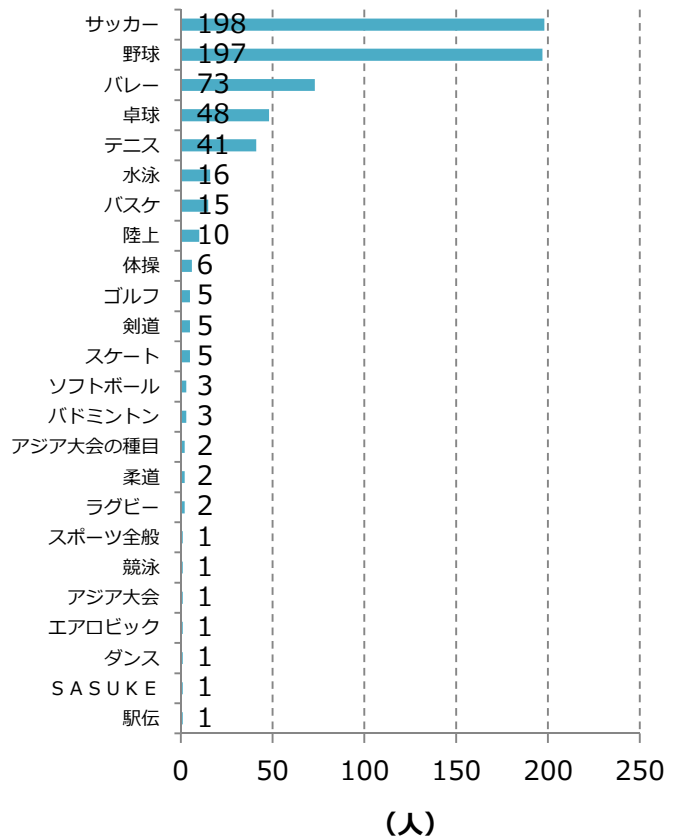
小学生が良く見るスポーツは、野球、サッカーが非常に多く、次いで、バレー、水泳となっています。

特に野球、サッカーはプロスポーツとしてテレビで放映される頻度が高いことも原因であると考えられます。



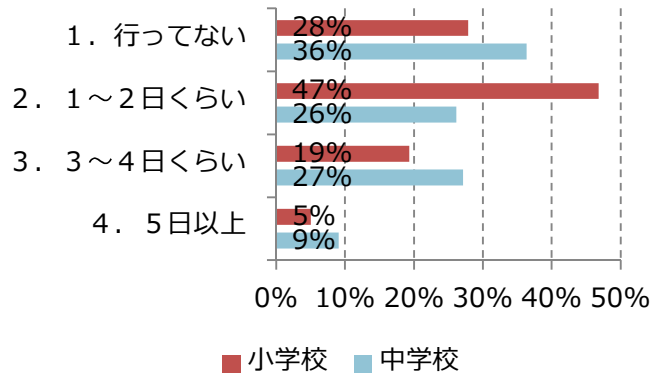
問6. 良く見るスポーツの名前（中学校）

中学生が良く見るスポーツは、サッカー、野球が非常に多くなっており、小学生と同様の傾向であることが分かりました。



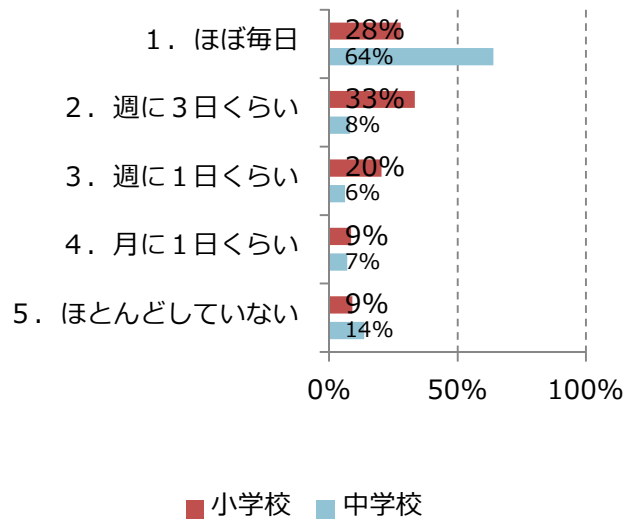
問7. 1週間に何日くらいスポーツ以外の習い事に行っているか？

スポーツ以外の習い事をしている子どもが多く、小学生で71%、中学生で62%となりました。また、小学生は週に1~2日が最も多く、中学生は行っていないが最も多い結果でした。



問8. 運動やスポーツをどのくらいしているか？

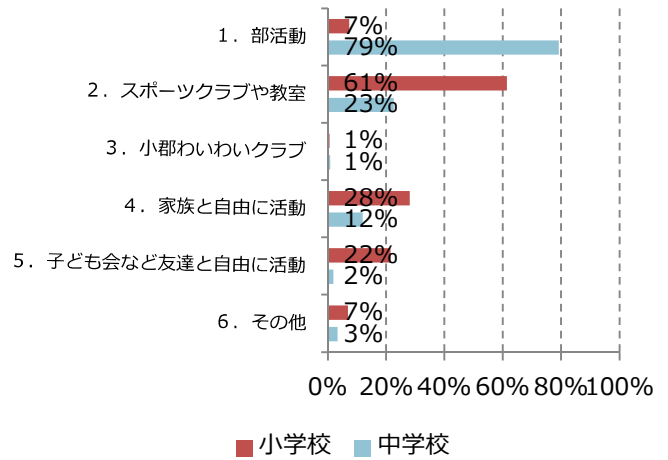
小学生は運動やスポーツを日常的に行っている割合が81%となり非常に多い結果でした。また、中学生もほぼ毎日運動やスポーツをしていると回答した人が最も多く、64%でした。



【運動やスポーツをしている子どもへの質問】

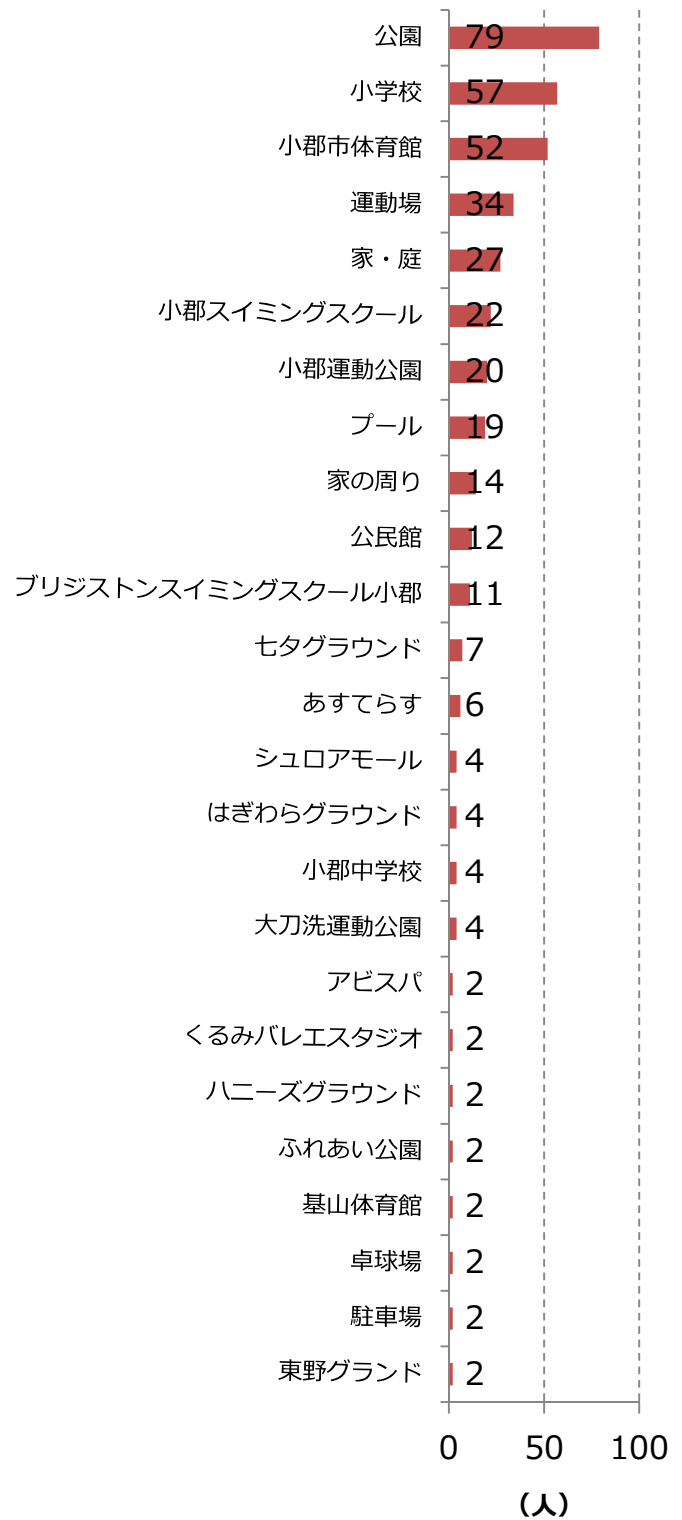
問9. どのようなかたちで運動やスポーツをしているか？

小学生は、スポーツクラブや教室で運動やスポーツをしている割合が多く、61%でした。中学生は、部活動で運動やスポーツを行っている割合が最も多く79%でした。



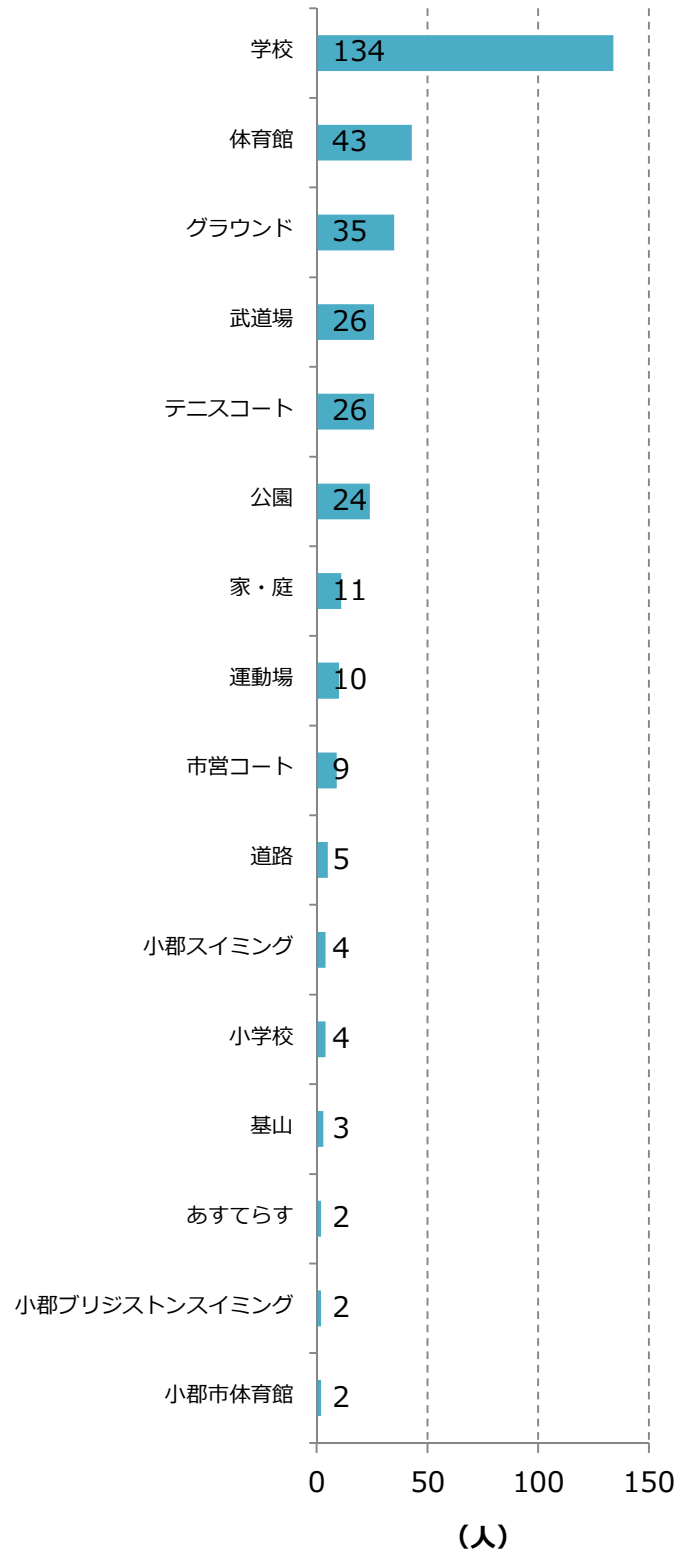
問9. 活動している場所（小学校）

小学生が運動やスポーツをしている場所は、公園が最も多く、次いで体育館、運動場という結果となりました。また、各小学校の体育館や運動場という回答も多く、各スポーツクラブ等がこれらを会場として活動していることが理由と考えられます。



問9. 活動している場所（中学校）

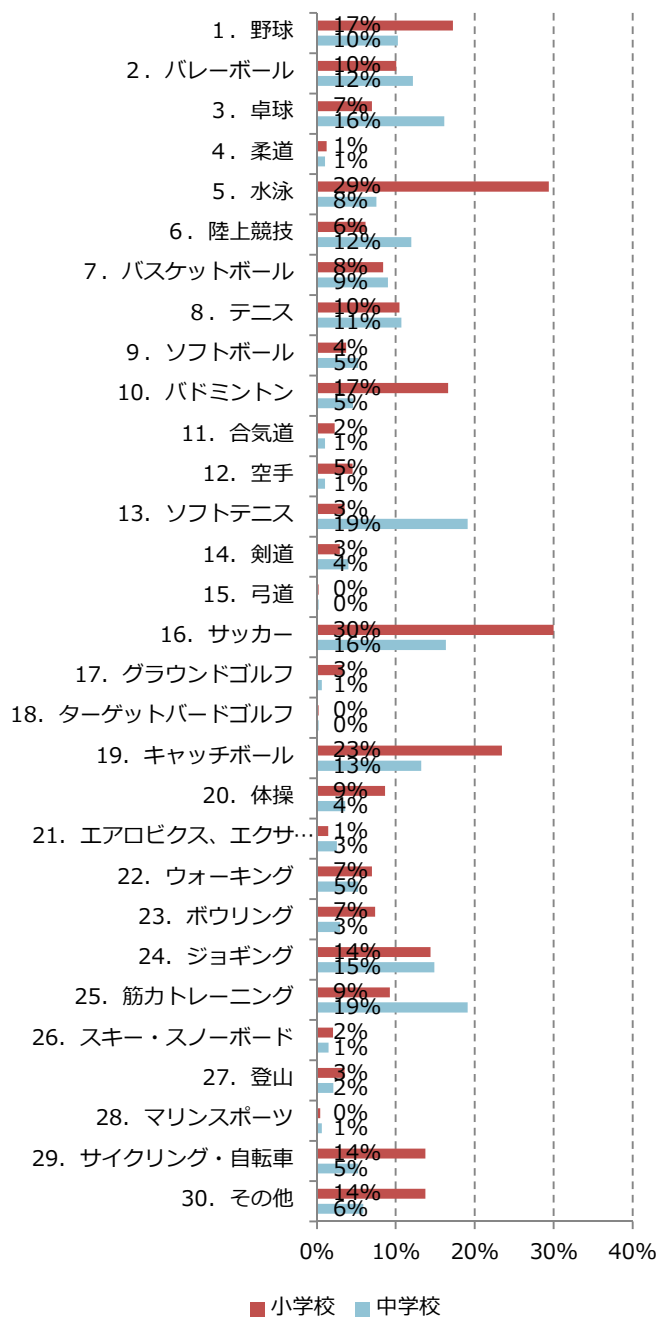
中学生が運動やスポーツを行なっている場所は、学校や体育館、グラウンドなど各学校内の施設が非常に多くなりました。これは、中学生のスポーツの母体が部活動であることが理由と考えられます。



問 10. どんな運動やスポーツをしているか？

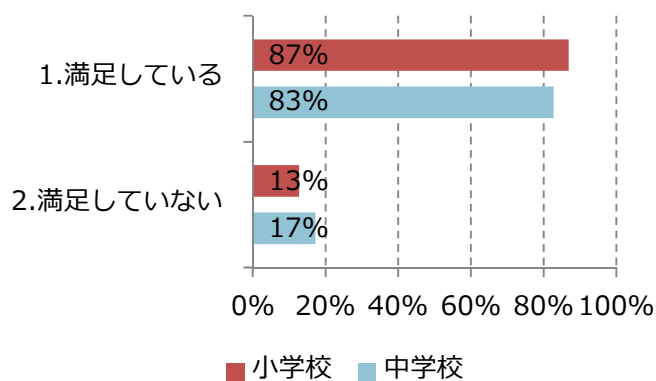
行っている運動やスポーツの内容は、小中学生で、差異が見受けられました。

小学生は、水泳、サッカー、キャッチボールが多くなっており、中学生は、突出して多い運動やスポーツがないということが分かりました。



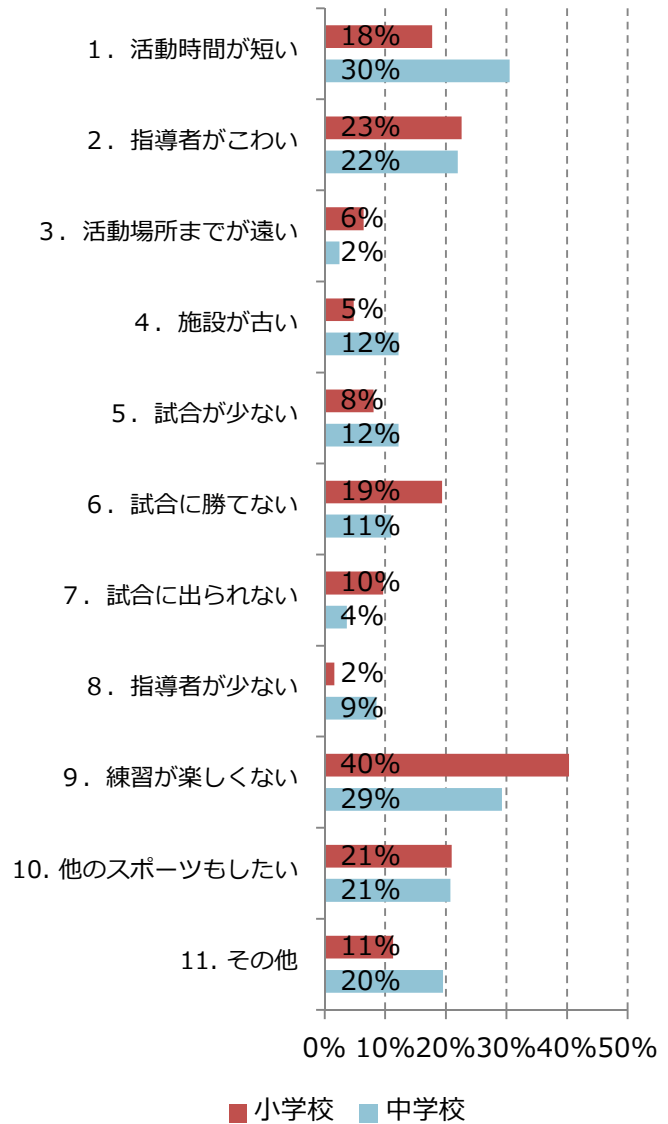
問 11. 運動やスポーツをすることに満足しているか？

小学生、中学生ともに運動やスポーツに満足しているとの回答が多く、どちらも 80%を超えています。



問 11. 満足していない人はその理由は何か？

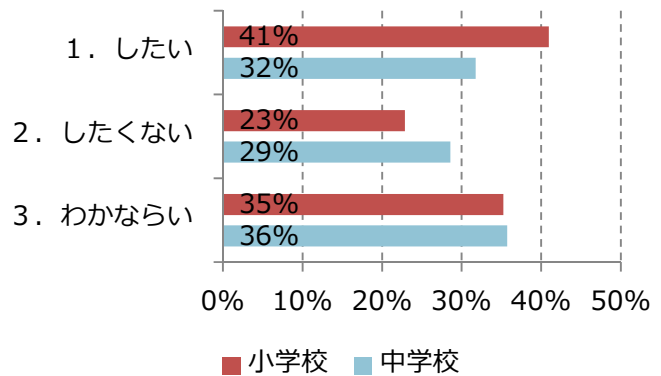
満足していない人の理由としては、小中学生で大きな差異はなく、「1.活動時間が短い」「2.指導者がこわい」「9.練習が楽しくない」が意見として多く挙げられています。また、「10.他のスポーツもしたい」の回答も多く、所属しているスポーツクラブや部活動以外のスポーツにも興味を示していると考えられます。



【運動やスポーツをしていない子どもへの質問】

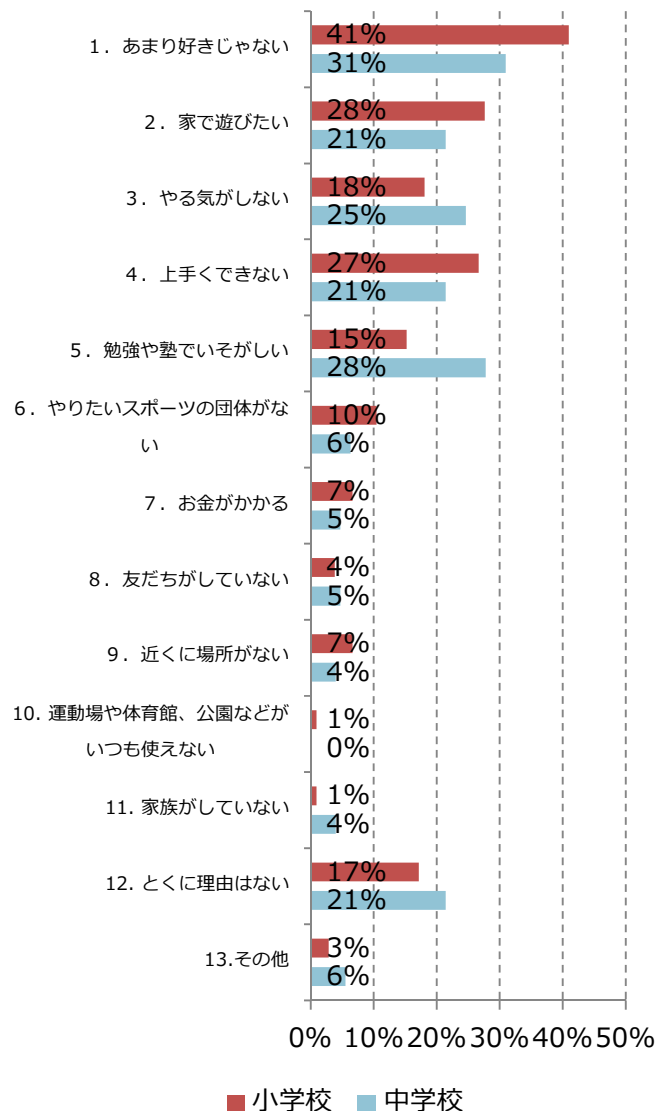
問 9. 運動やスポーツをしたいと思うか？

運動やスポーツをしていない子どものうち、スポーツをしたいと考えているのは小学生が 41%、中学生が 32%となりました。



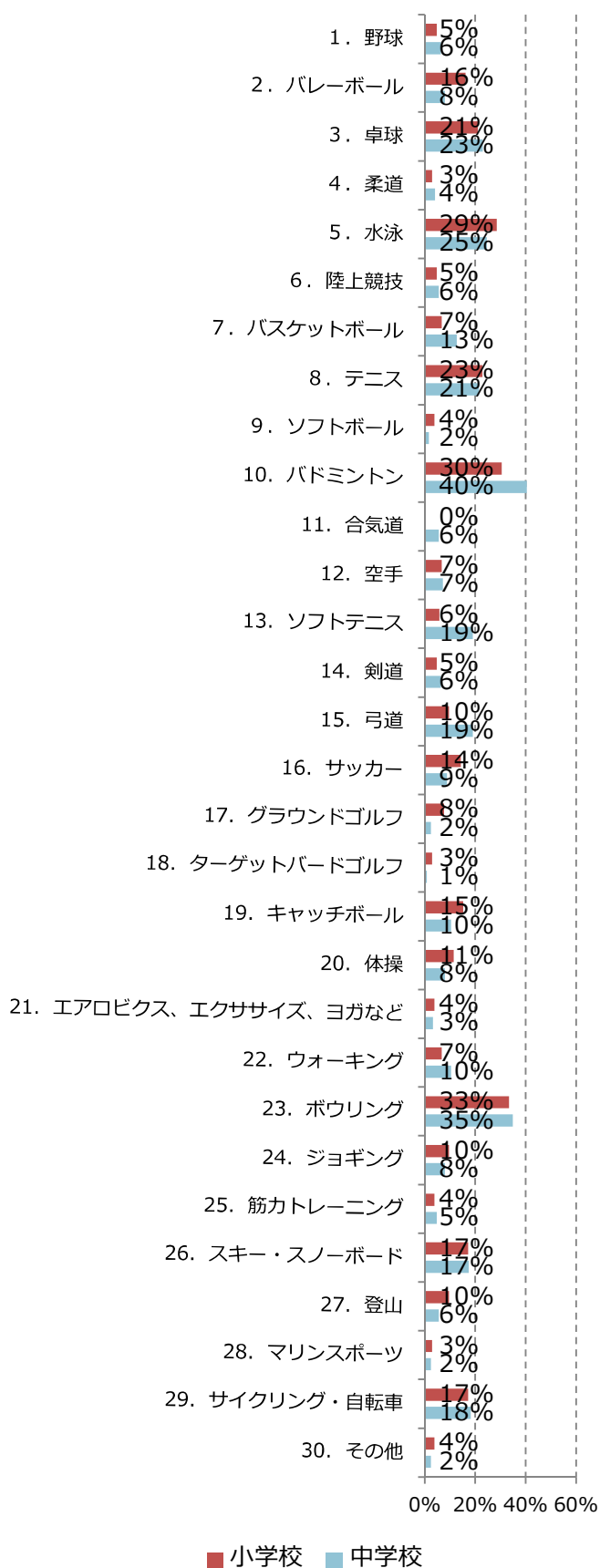
問 10. 運動やスポーツをしない理由は何か？

運動やスポーツをしない理由として最も多く挙げられていたのは、小中学生ともに「1.あまり好きじゃない」であり、運動やスポーツに対してネガティブな印象を持っていることが分かります。また、中学生では、「5.勉強や塾でいそがしい」の回答も多くなっており、スポーツを行う機会が少ないことが分かります。



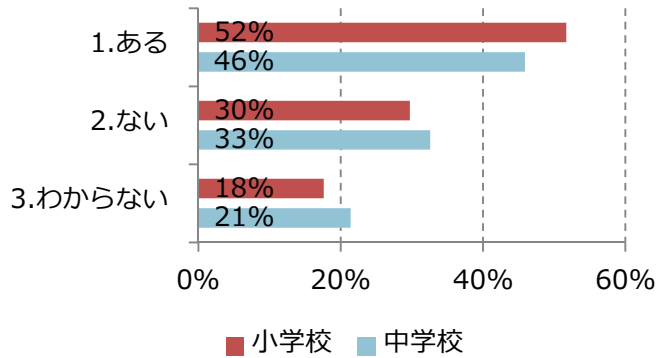
問 11. 運動やスポーツをしたらどのようなスポーツをしたいか？

小中学生ともに多かったのが、「23.ボウリング」であり、レジャーとしての活動をしたいと考えていることが考えられます。また、「10.バドミントン」の回答も多い結果となりました。



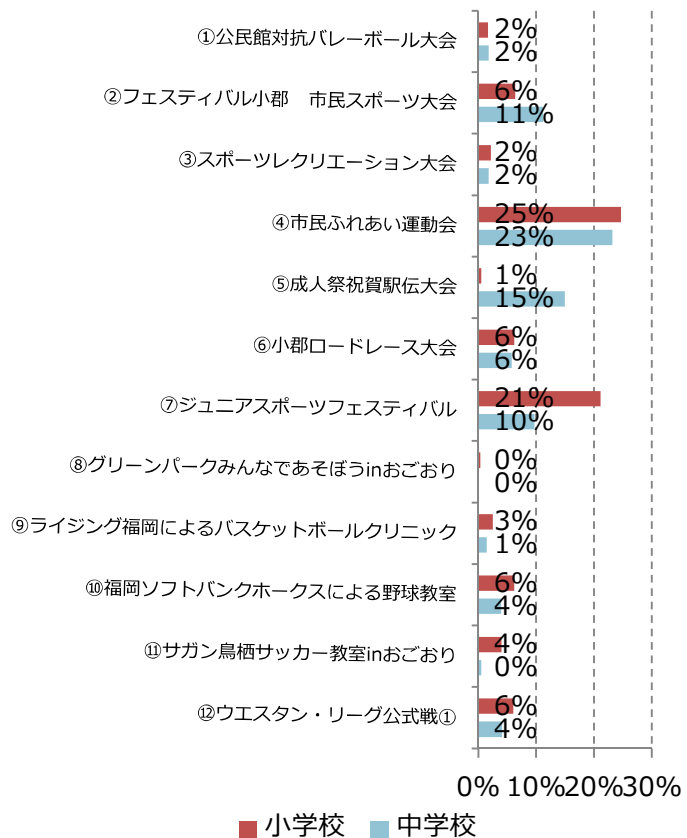
問 12. 小郡市のスポーツイベントに行ったことがあるか？

小郡市の各スポーツイベントに参加したことがある人が多く、小学生が 52%、中学生が 46%となりました。



問 13. どのスポーツイベントに参加したか？

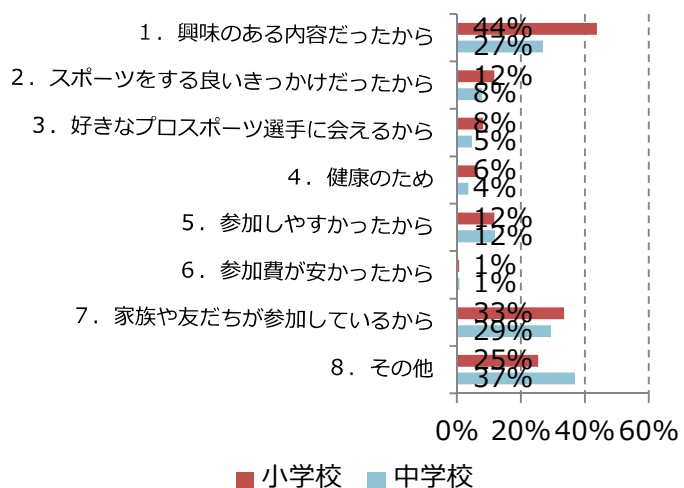
参加したことのあるイベントとして、最も多かったのは「④市民ふれあい運動」であり、小学生が 25%、中学生が 23%でした。また、小学生は「⑦ジュニアスポーツフェスティバル」への参加も多く 21%でした。



問 14. なぜスポーツイベントに参加しようと思ったか？

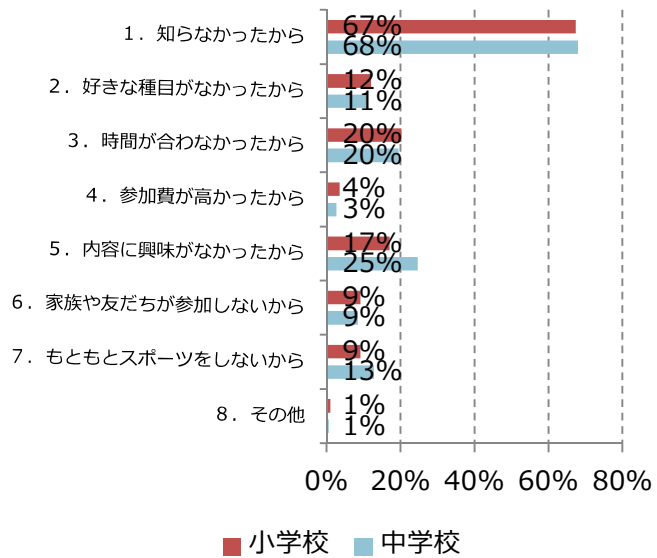
小学生の参加した理由で最も多かったのが、「1.興味のある内容だったから」であり、44%でした。次いで多かったのは「7. 家族や友だちが参加しているから」でした。

中学生が参加した理由で最も多かったのが、「7.家族や友だちが参加しているから」であり、29%でした。



問 14. スポーツイベントに参加しなかったのはなぜか？

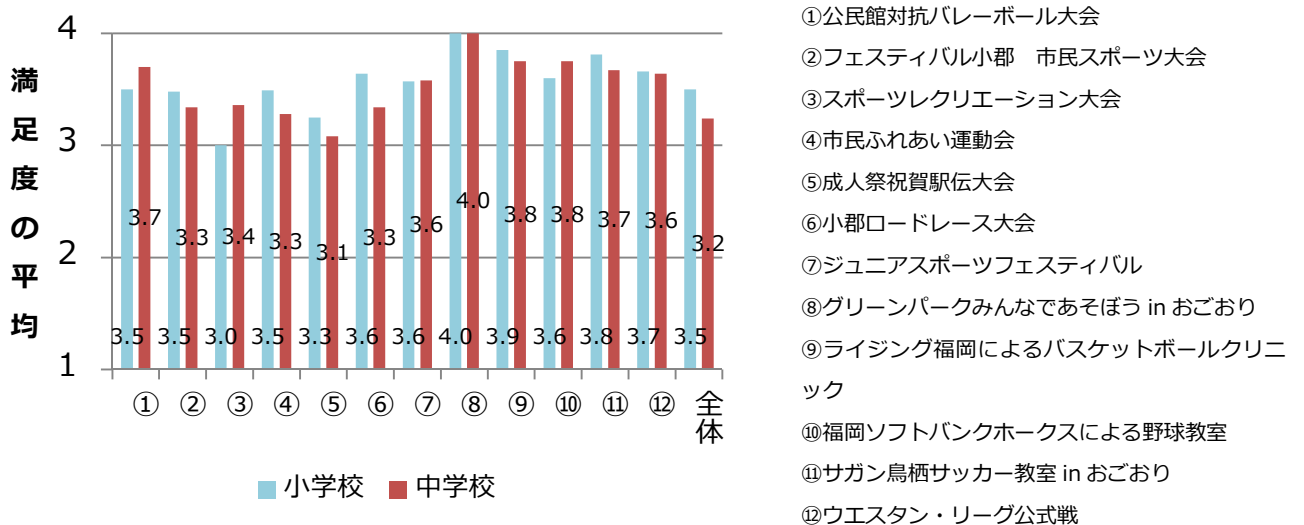
参加しなかった理由で最も多かったのは小中学生ともに「1.知らなかったから」であり、65%以上でした。



問 15. 参加したスポーツイベントの満足度は？

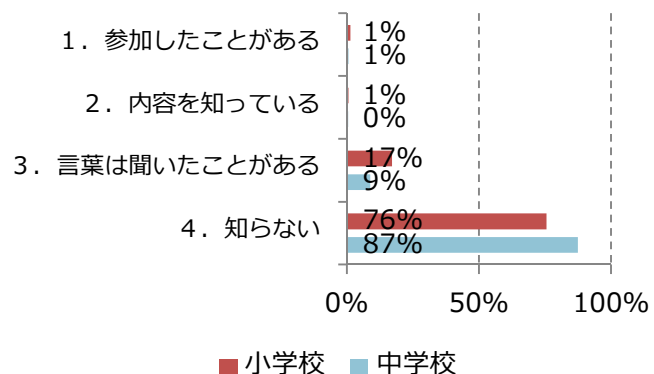
参加したスポーツイベントの満足度は、総じて高く、最も参加率が高かった④市民ふれあい運動会では小学生で平均 3.5、中学生で平均 3.3 でした。

※満足度は「満足」を 4 点、「やや満足」を 3 点、「やや不満」を 2 点、「不満」を 1 点として集計し、点数が高いほど満足度が高くなっています。



問 16. 小郡わいわいクラブを知っているか？

小郡わいわいクラブの認知度および参加率は、小中学生ともに低く、「1.参加したことがある」の回答は 1% でした。



参考 2 団体ヒアリング調査結果

協会・団体名	質問内容	回答
バドミントン 協会	活動状況と 今後の展開は？	<ul style="list-style-type: none"> 活動：団体人員は5年ほど増減なし 少子化が考えられるが、人材発掘をして人員を増やしたい 大会：市民体育館→年5回（オープン4回 連盟1回）
	最も利用する施設は どの施設？	<ul style="list-style-type: none"> 主に、小郡市体育館と小中学校の体育館を利用している 市内の体育館が利用できないとき（他団体と利用時間が重なったときなど）に、鳥栖市（2ヶ所）と基山町の体育館を利用している
	課題や改善点がある 施設は？ 具体的な改善点は？	<ul style="list-style-type: none"> 小郡市体育館 更衣室が古い（床工事を） 1大会で約100人の観覧者がいるが、観覧席がない 老朽化が著しく天井も低い
	各団体におけるスポ ーツ振興に関する 課題は？	<ul style="list-style-type: none"> 課題として人口減少による参加人員の減少、社会人の不参加（職場が遠いため） 市の広報や今年からケーブルTVでPRをして募集をかけている
	小郡市のスポーツ 振興にとって重要な こととは？	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ（広報用）を作成、PR ジュニアスポーツ、初心者の発掘、指導者不足の改善
	スポーツ振興施策に おける市に対する 要望	<ul style="list-style-type: none"> 小郡市体育館の新設 ハード面：コートが少ない（オープンでは10面は必要）、シングルでは天井高が低い ソフト面：有名選手による指導（インターネット効果は高い→市外からの来過ぎに注意）
	陸上競技協会	活動状況と 今後の展開は？
	最も利用する施設は どの施設？	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場（久留米競技場と協力）
	課題や改善点がある 施設は？ 具体的な改善点は？	<ul style="list-style-type: none"> 競技用器材の更新（写真判定の機材、ハードル、ハンマー・円盤の柵）
	各団体におけるスポ ーツ振興に関する	<ul style="list-style-type: none"> 大会役員の確保（審判員はボランティアが多い） 中学校の陸上部がない

	課題は？	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上教室を行っている
	小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？	<ul style="list-style-type: none"> ・家族で楽しめるイベント ・全国大会、九州大会の誘致など
	スポーツ振興施策における市に対する要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードレース会場は着替えができる場所が近くにないので、運動公園に隣接した体育館の建設を。 ・有名選手による指導 ・ロードレースのコースの改善（近隣住民への配慮、公道の周回コースは避けるべき）
バレーボール協会	活動状況と今後の展開は？	<ul style="list-style-type: none"> ・人員は減っている ・今後も何か手を打たないと減るだろう ・活動：5→3 チームに減、青年チームがない、ソフトバレーも活動していない
	最も利用する施設はどの施設？	<ul style="list-style-type: none"> ・北筑後に大きな体育館がないので、大牟田、柳川、久留米に借りている
	課題や改善点がある施設は？ 具体的な改善点は？	<ul style="list-style-type: none"> ・核となる体育館がない ・駐車場の確保 ・大きな大会では、コートを4面、十分な天井高、2000人規模の観覧席 ・ジュニアバレーコートの不足 ・ネットの柱が古い ・空調面での不備、大原小では窓が開かない箇所がある
	各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアバレーボールとしては、楽しさを重視 ・指導者の育成 ・改善活動は現在していない（子どもはしたいが、大人ができない場合がある） ・学童に教えていく ・青年チーム→問合せはあるが、提供できるチームと場所がない
	小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？	<ul style="list-style-type: none"> ・健康とスポーツを合せる ・Vリーグを呼びたいが、物理的に難しい ・ジュニアチーム以上を指導できる人がいない
	スポーツ振興施策における市に対する要望	<ul style="list-style-type: none"> ・バレー教室をしてはどうか？ ・指導者がいない

サッカー協会	活動状況と今後の展開は？	<ul style="list-style-type: none"> ・活動：少年、中高生、社会人のカテゴリーで、少年チームを重視（育成が難しい）、人員は現状維持（感覚的に少年チームはあまり増えていない）、中学生は中体連、高校生は加盟チームなし、社会人は筑後ブロックに所属（社会人チームは増加傾向）
	最も利用する施設はどの施設？	<ul style="list-style-type: none"> ・少年チーム：たなばた運動広場（他団体とのことを考えると活動場所は住み分け） ・筑後ブロック会場→久留米、広域公園 ・各大会時期で会場を使い分ける
	課題や改善点がある施設は？ 具体的な改善点は？	<ul style="list-style-type: none"> ・ナイターができない（ほしいが、管理の課題を考える） ・アビスパスクールの利用後、グラウンドは荒れたままとなっていることもあり、グラウンド整備などルール徹底が必要 →各団体の核となる施設が決まるといい
	各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズスクールでの育成→指導者の育成も含んでいる
	小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズや各世代が快適に利用できるような体制 ・選択肢がある育成陣営を
	スポーツ振興施策における市に対する要望	<ul style="list-style-type: none"> ・フットサルができる体育館 ・芝生のコート →高齢者（65～70歳代）のサッカー人口が増えてきている ・少年チーム：土曜授業が市町村によって違う（県によって統一してほしい） →サッカーに限らず、各団体が抱えている課題
テニス協会	活動状況と今後の展開は？	<ul style="list-style-type: none"> ・活動：人員は、減っていない、スクールでは子どもお断り →全体的にコートを占領しかねない、保護者との関係を敬遠 小郡市では、平日でもコートは利用者でいっぱい ・大会：47年前から定期的に大会を行っている（大会は中学生以上から）、大会は年2回、スクールで年7回（スクールは社会人） ・市のバックアップがないと大会運営が厳しい→利用料金が高い ・市の大会では利用料金を半額にするなどしてほしい
	最も利用する施設はどの施設？	<ul style="list-style-type: none"> ・大会時以外での活動は地域運動広場を利用 ・大会、スクール時だけ市外の施設を利用
	課題や改善点がある施設は？ 具体的な改善点は？	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの衛生管理→他スポーツの方も利用しているのに、清掃は週1回のみ、女性としては使いにくい ・オムニコート補修→継ぎ足しではなく、全面補修

	各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？	<ul style="list-style-type: none"> ・設備面の充実 ・テニス人口を増やしても、施設が不足している ・レクリエーションは午前中の参加者が多い（午後は参加者が少ない）
	小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使いやすさ ・プロを呼んだら、お金が掛かる ・中体連に硬式テニスがある？（佐賀では3校ある） ・指導者がいない ・広報面ですそのを拡げる体制を
	スポーツ振興施策における市に対する要望	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況の情報が、うまく利用者に伝わっていない
ターゲット バードゴルフ 協会	活動状況と今後の展開は？	<ul style="list-style-type: none"> ・活動：定期的に行われている（練習は週2回、大会は月例で年4回）、人員は増えてはいないが、長く続けている方がほとんど（ゴルフ経験者） →興味を持ってもらえるが、加入までは至っていない 人数は最大33名、年齢は平均62歳ほど ・大会：九州各地の大会にも参加（福岡、佐賀、宮崎など） 来年度、県大会を主催する
	最も利用する施設はどの施設？	<ul style="list-style-type: none"> ・主に、たなばた広場の南芝生広場を利用→できない時は市内の河川敷 ・市外での活動はほとんどない（あっても見学程度）
	課題や改善点がある施設は？ 具体的な改善点は？	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントと重なると、駐車場が混んでトラブルが出てくる ・常設のコースがほしい →本来は18ホールだが、4ホールで練習をしている
	各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の会員が少ない（増えてほしい） ・朝早くからの活動なので、長続きしないのか？ ・活動場所の広さが足りず、十分なプレイができない ・市にPRなどの要請はしていないが、した方がいいのではないかと考えている ・『ターゲットバードゴルフ』の名前とどんなスポーツかを覚えてもらうことが重要 →人づてなどの、きっかけが必要 ・グラウンドゴルフと違ってプレイが難しいので、初めての人が続かない

	小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？	・特になし
	スポーツ振興施策における市に対する要望	・継続をしてもらうための、おもしろさのPRが必要
野球協会	活動状況と今後の展開は？	<ul style="list-style-type: none"> ・活動：人員は減っている（現在 40 チーム）、今後も減少傾向にある→他スポーツとの人員の取り合い、時間の不都合、小学生が一番多い ・大会：年 40～50 回（小・中・一般・還暦）
	最も利用する施設はどの施設？	<ul style="list-style-type: none"> ・他スポーツとの利用状況を配慮して、いくつかの地域運動広場を利用している ・小中学生→学校グラウンド ・一般→地域運動広場 ・市外での施設利用は特になし
	課題や改善点がある施設は？ 具体的な改善点は？	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝利用もしたいが、時間の制約が大きい ・電光掲示板の打ち込みに時間が掛かる ・マウンドがない ・バックネット裏にトイレがほしい（高齢者への配慮） ・休憩所が少ない
	各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使いやすさが足りない→規約を柔軟に考慮してほしい ・運動広場の運営と利用状況→他チームが利用した後のグラウンド状況が悪いことがある ・連盟として PR 活動はしていないが、各チームでチラシなどを作って募集している
	小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外よりも屋内の施設を充実させるべき ・プロ野球選手の招待は、回数よりもタイミングが重要 ・野球に限らず子どもの体力の低下
	スポーツ振興施策における市に対する要望	<ul style="list-style-type: none"> ・市民運動会の参加が地域によってバラつきがある →校区の運動会か、人が集まるようなイベントに変更できないか？、若い人がいない ・少子化にどう歯止めをかけるか ・良い施設をつくるのも大事だが、特に地元市民が利用しやすいように配慮することも大事

合気道会	活動状況と今後の展開は？	<ul style="list-style-type: none"> 活動：週3回 <ul style="list-style-type: none"> 月曜→子ども8～9時、一般9～10時 木曜→一般8～10時 土曜→子ども7～8時、一般8～9時 子どもが多い 小学1年生から60歳以上と年齢層は幅広い 大会：合気道自体に大会はなく、年2回昇段試験、年1回演武や国際交流などがある
	最も利用する施設はどの施設？	<ul style="list-style-type: none"> 市武道場 久留米市北野町の武道場（一般のみ）
	課題や改善点がある施設は？ 具体的な改善点は？	<ul style="list-style-type: none"> 市武道場 雨漏り→畳の劣化→怪我した子どもがいる
	各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？	<ul style="list-style-type: none"> 小郡商業ニュースの募集要項を見て来られる方が多い 他道場では5年毎に演武を行っている →なかなか開けないが、10年毎でも開催した方が目標にもなるのでは
	小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？	<ul style="list-style-type: none"> 武道場の建替えをするなら、合気道だけでなく公式戦ができるようにしてほしい →例) 剣道、武道のフロアを分けてほしい (声を出す競技と同じ場所で指導していると、指導者の声が聞き取れない)
	スポーツ振興施策における市に対する要望	<ul style="list-style-type: none"> 口コミなどで子どもの人数が多い→教えるのが難しい、場所がない
卓球連盟	活動状況と今後の展開は？	<ul style="list-style-type: none"> 活動：事業計画の作成と運営 <ul style="list-style-type: none"> 中学校部活のサポート→そのための人材育成 今後はジュニアの育成に力を入れていく 一般では98名だが、体協に加盟していない団体もあるので卓球人口は多い 中学校→体協では人数を出していないが、減少傾向 大会：大会運営と講習会を年12回 <ul style="list-style-type: none"> 中体連大会運営と支援を年2回
	最も利用する施設はどの施設？	<ul style="list-style-type: none"> 市体育館 三国中学校武道場 体育館、武道場が使えないところは、空き教室を利用→設備が不十分

	<p>課題や改善点がある施設は？ 具体的な改善点は？</p>	<p>市体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品の劣化とメンテナンス不足 ・トイレ、下水廻りの設備改修（特にしてほしい） ・照明（暗いと競技に支障あり） ・観覧席（選手、観客の待機場所がほしい） ・卓球台が 24 台使える体育館がほしい
	<p>各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体協加盟の問題 →利用団体で、2 団体が体協に加盟していない ・ジュニア指導者の育成 →各校区ごとに地域の指導者を育成する必要がある 各中学校の部活の先生方と連携していく必要がある ・高齢者の卓球人口が増加しているなど、対策すること
	<p>小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体協と加盟団体とのつながりが不十分 ・県大会レベルの開催 ・ジュニアの育成
	<p>スポーツ振興施策における市に対する要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市体育館の大規模改修か新築をしてほしい ・人材育成の支援→特にジュニアが育つ環境づくり ・市と各団体が協力してメンテナンス
<p>柔道協会</p>	<p>活動状況と今後の展開は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動：中学生以上の昇段試験受験のための指導 指導者の研修会、試合参加 加盟は市内で 1 団体（柔の会のみ） 会員勧誘 中学校体育授業（柔道）要請時に指導者派遣 人員は減少傾向 ・大会：年 4 回定例の試合のほか、他団体道場の試合参加（個人戦含め）
	<p>最も利用する施設はどの施設？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市武道場 ・トレーニングルーム→以前は利用していたが、器具の老朽化から現在は卓球場、新体操
	<p>課題や改善点がある施設は？ 具体的な改善点は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・練習では畳などの必要設備が充実していれば、規模に問題なし ・大会の会場としては規模が足りない ・市武道場の雨漏り→畳の劣化（角が破れた場合は危険） ・トレーニングルームの復活 ・武道場の本格的調査、建替え検討（何度も補修しているが、完全になおらない）

	各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？	<ul style="list-style-type: none"> ・団体紹介等のPR不足→市の広報は年1回 ・独自でPRを作成し、公民館で掲示してもらっている
	小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？	<ul style="list-style-type: none"> ・市民へのスポーツに対する有効性の理解と普及 ・市民皆スポーツに対する受け皿として、各競技紹介と市内スポーツマップ作成を ・市民皆スポーツとは、子どもから大人までソフトからハード、手近に1人から大組織まで
	スポーツ振興施策における市に対する要望	<ul style="list-style-type: none"> ・市民皆スポーツが普及しても、実行や試合する場所の確保が必要例) 体育館<多目的アリーナ<総合体育館 ・プール(循環ろ過器付多目的プール)→防災、緊急時飲料水
ソフトテニス 連盟	活動状況と今後の展開は？	<ul style="list-style-type: none"> ・活動：火、木、土、日曜、祝日で活動 高齡化は著しいが、競技人口は多い(総勢343名) 小中学生が盛んだが、保護者同伴だと時間が取れないことがある ・市内に高校ソフトテニス部がないので、中学で卒業してしまうことが多い
	最も利用する施設はどの施設？	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の地域運動広場と市営コートを利用している(この2ヶ所で活動は充分)
	課題や改善点がある施設は？ 具体的な改善点は？	<ul style="list-style-type: none"> ・市営コート→改修計画あり ・地域運動広場→維持管理等の協議を展開中 ・ただし、全体的に市の体育施設は古くなっている
	各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの利活用→情報発信の工夫が必要 ・加盟されてない方をお誘いしても、単発での参加となっている
	小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？	<ul style="list-style-type: none"> ・他スポーツ施設でも照明が暗かったり、間引きされていたりと改善点が見られる ・子どもの育成環境が不十分 →料金が高い (指導対象の中に大人が1人でもいると、子どもたちも大人料金になってしまう)
	スポーツ振興施策における市に対する要望	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が把握し切れていない→情報が無い→対策が立てられない ・マスタープランは市の方向性から計画を立てていく ・体育協会の理事会が重要

<p>グラウンド ゴルフ協会</p>	<p>活動状況と 今後の展開は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動：平均年齢 77.26 歳 400 名ほどの会員がほぼ毎日どこかで活動 研修会を 2 年に 1 回行っている（ルールが変更した時など） 練習は各地域で日数、時間帯を決めている（約 2 時間ほど） →体調を優先 人員はほぼ横ばい 大会：月例会は毎月（250 名ほど参加）
	<p>最も利用する施設は どの施設？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大会は主に、たなばた地域運動広場を利用している 練習は、各団体で近くの公園や広場、お宮などを利用している →協会はたなばた地域運動広場を利用（市外で活動することもある 久留米など）
	<p>課題や改善点がある 施設は？ 具体的な改善点は？</p>	<p>たなばた地域運動広場</p> <ul style="list-style-type: none"> サッカーなど前利用者のあとだと、グラウンドが荒れたまま グラウンドを整備する道具が足りない（トンボ 10 本、ブラシ 3 本ほどほしい） グラウンド周囲の芝刈りをしてほしい
	<p>各団体におけるスポ ーツ振興に関する 課題は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> レディース杯、ペア、校区対抗などの大会の種類を増やしている 仲間づくり、体づくりになる コミュニティバスがあると、車を運転しない方は移動が助かる
	<p>小郡市のスポーツ 振興にとって重要な こととは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーションができる広場がない（御原にない） ソフトボールとかができる広場が、校区に 1 ヶ所くらいほしい 御原小学校だとグラウンドゴルフコースが 1 コースしかできない 味坂と御原の中間に、多目的広場がほしい
	<p>スポーツ振興施策に おける市に対する 要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小郡市運動公園の利用料を安くしてほしい（大会利用時など）
	<p>剣道連盟</p>	<p>活動状況と 今後の展開は？</p>
<p>最も利用する施設は どの施設？</p>		<ul style="list-style-type: none"> 市体育館（土曜は武道場を利用） 小中学校体育館 施設は市内のみ利用

	<p>課題や改善点がある施設は？ 具体的な改善点は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設が全体的に劣化が目立つので、大会利用に無理がある ・使用料を安くできないか ・駐車場が足りない ・特に床を補修してほしい→床が硬いので、クッション性を持たせてほしい <p>以前補修してもらったが、補修前よりクッション性が悪くなった</p>
	<p>各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人員増加の対策は、特にしていない →募集は指導者と生徒の写真を撮って、チラシを住民の協力を得て掲示している ・市の広報の協力がほしい ・指導者不足はなく、力量にも問題はないと思われる
	<p>小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経験者が再び始められるような環境づくりをしてほしい →大会目的だけでなく、交流目的として加入しやすい環境
	<p>スポーツ振興施策における市に対する要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の建替えの時は、利用者、専門家の意見を取り入れてほしい
<p>空手連盟</p>	<p>活動状況と今後の展開は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動：月、木、金曜の週3回 19：30～21：30（2時間） ・推移：減少傾向 7～8年前は50～60人→現在23人（指導者含め） 今後も減少していくと思う 小学生<中学生 （小学生は加入が少ない、中学生は卒業後に高校で続ける人もいる） ・大人の会員は、子どもと一緒に参加している保護者がほとんど ・①中体連が年2回、②小～一般が年12、13回（5、6回出場） →②は市の大会（市体育館）約200人が参加
	<p>最も利用する施設はどの施設？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜：市体育館、木金曜：柔剣道場（現状は問題ないが、60人以上だと狭い） ・加盟団体は1団体のみ ・二日市に本部道場があったが、昨年取り壊されてなくなった ・本来は、武道場での活動を希望している→新設なら規模を広くしてほしい

	<p>課題や改善点がある施設は？</p> <p>具体的な改善点は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題なし 強いて言えば ・放送設備が古い ・観覧席→空手としてはいらぬ？→他スポーツを思うと必要 ・駐車場→単独で使用する場合は問題なし ・市体育館の老朽化→床の補修後にも問題あり（ぶかぶかしている） ・仕切りのネットを大きく（バスケットボールが入ってくる）
	<p>各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題は、会員が減っていること ・新聞の折込み広告で募集を掛けたことがある→問合せ、見学なし ・他に市体育館でチラシを掲示している ・会員を増やしたい思いはある→自然と増えていたのに、仕方がわからない、保護者と相談はしている
	<p>小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特に考えはなし ・年1回、元世界チャンピオンの会長に指導を受けに行く（市外）
	<p>スポーツ振興施策における市に対する要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を使いやすく→スポーツ施設の集約→市の人口が増えるのではないかと ・他スポーツ全体の振興に関する要望と課題は、今のところなし
弓道連盟	<p>活動状況と今後の展開は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動：月～日曜（3グループに分けて）AM15～20名 PM5～6名 夜10～15名 合同練習→毎週火曜 25～30名（10～12時） 例会→月1回 30～40名（9～12時） 中学生～90歳くらいまで会員がいる（平均45～50歳） ・大会：6～7月 初心者教室（年14回）15名ほどの参加→毎年5～6名加入、8月 たなばた大会 約300名参加
	<p>最も利用する施設はどの施設？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市体育館裏の弓道場のみ→市内には1ヶ所しか弓道場がない ・市外は個人利用←連盟が声をかけることはない
	<p>課題や改善点がある施設は？</p> <p>具体的な改善点は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・弓道場が狭い →元々5人立（正式）だったが、甘木鉄道整備の関係で一部土地を貸していた →無理やり5人立にして、ひな壇を作ったが柱が邪魔に →建替えてもらうのが一番だが、せめて柱を取り除いてほしい ・遠的場を元どおりにしてほしい ・通路が更衣室代わりになっているので、トイレに行きづらい（ロッカーがほしい） →体育館の整備（観覧席がほしい→大会時は人が多く、利用しにくい）

	<p>各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・募集：6～7月の初心者教室、口コミなど→他には特になし ・経験者が年に、1～2名ほど入ってきている ・中学生→高校で弓道をしたいのでその前に経験を積みたいのでは ・高齢者→大きな動きもないので、無理なく続けられる
	<p>小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・8月のたなばた大会では会場が狭い ・外部から招待したいが、施設がみすぼらしい→施設が快適なら呼びたい、イベントしたい ・中学校もしくは付近に、1ヶ所でも弓道場がほしい ・青少年の育成に弓道を役立ててほしい
	<p>スポーツ振興施策における市に対する要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増加傾向なので支援をお願いしたい ・自然散策やウォーキング→小郡市の自然（宝満川）を活かした場所、みんなが楽しく交流できる場所、コスモスを植えるなど散策しやすい工夫を
<p>ソフトボール 連盟</p>	<p>活動状況と今後の展開は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動：一般男子→14チーム（1チーム15名ほど）←一番多い ミセス（ママさん）→5チーム 審判、指導者の集まり→25名ほど（小～高校の大会を主催） 15年前→一般男子が18チーム、ミセスが11～12チーム 若いメンバーが少ない→現在は40歳代が中心 ・大会：一般男子→リーグ戦（6日半くらい）、オープン戦（トーナメント）、6月一般大会（参加チームが少なくなっている）、ミセス→リーグ戦、体協の大会（トーナメント）年1回、小中高校大会（トーナメント）年1回
	<p>最も利用する施設はどの施設？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的広場での活動がメイン（リーグ戦など） ・他→あずまの地域運動グラウンド、たなばたグラウンド（年2回） ・市外では、基山町の大会に出ている ・以前は北野カップ（全48チーム）の大会に出ていた
	<p>課題や改善点がある施設は？ 具体的な改善点は？</p>	<p>多目的広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Bコートの得点板がなくなっている→補修中 ・ダグアウト屋根の破損 ・グラウンドは3年前に補修済み→問題なし <p>たなばたグラウンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トンボが不足している ・管理棟が機能していない ・倉庫に道具を置かせてもらいたい→各チームで管理、準備や片づけが簡単になる

	各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？	<ul style="list-style-type: none"> ・連盟は 35 年くらいになるが、始めはスローピッチや多少下手でも楽しくやっていた →現在は、レベルが上がったのか入りにくいイメージがある ・公民館対抗で誰もが親しめる大会→楽しめるソフトボールへの取組み ・ミセス→未経験者が多い、子育てで参加できない ・特に募集活動はしていない →各チームが独自で募集をかけている
	小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト中学男子はない（高校はある） ・学校単位でトヨタのチームがイベントで来ている→久留米などに outward している（年 1 回） ・呼ぶとなるとコスト面の問題がある→市の支援がほしい
	スポーツ振興施策における市に対する要望	<ul style="list-style-type: none"> ・運営は問題なし
バスケットボール協会	活動状況と今後の展開は？	<ul style="list-style-type: none"> ・活動：ミニバスケット→6 チーム（男女）、一般→1～2 チーム ・元々多いというわけではないが、人員は減少している ・大会：夏、秋（年 2 回） 地区のカップ戦（市内での大会はなし）
	最も利用する施設はどの施設？	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニバスケット→小学校体育館（市内） ・一般→市体育館、中学校体育館 ・市外での活動は大会のみ（練習は市内のみ）
	課題や改善点がある施設は？ 具体的な改善点は？	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で試合ができるような体育館がない ・主催したことはあるが、市外で開催→大刀洗トレーニングセンターなど ・屋外で練習できる場所がほしい←校庭にリングがほとんどない市体育館 ・アリーナのように 2 階席（観覧席）がほしい ・現体育館は狭い ・コート外のスペースが狭い→観客と選手の距離が近すぎる ・リングを可動式にしてほしい ・駐車場は広いと思うので問題なし

各団体におけるスポーツ振興に関する課題は？	<ul style="list-style-type: none"> ・認知度が低い？→TVなどで目に触れる機会が少ない ・プロを呼びたいが、大会ができるような環境が整っていない →うきは市、久留米市、広域公園など市外でないと見る機会がない ・バスケットクリニックなどの回数を増やす ・市外で登録をして活動している方もいる？→環境が整っていない、指導者がいない ・各チームで募集をかけたたり、見学に来ている子に声をかけてみるなどの活動を以前はしていたが、今年はしていない
小郡市のスポーツ振興にとって重要なこととは？	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツができるきっかけがほしい →持病や障害があってもジョギングやウォーキング、プールなど運動ができる環境づくり
スポーツ振興施策における市に対する要望	<ul style="list-style-type: none"> 市体育館の建替え ・総合体育館にしてほしい ・大きな大会（高校、プロなど）ができるように→観るスポーツも楽しみたい

参考 3 市内スポーツ施設調査結果

1. 小郡市体育館調査結果



2. 弓道場調査結果



3. 武道場調査結果



4. 野球場調査結果



5. 陸上競技場調査結果



参考 4 スポーツ基本法

前文

スポーツは、世界共通の人類の文化である。

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵(かん)養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、今日、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものとなっている。スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。

スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである。

また、スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するものである。さらに、スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠である。

スポーツ選手の不断の努力は、人間の可能性の極限を追求する有意義な営みであり、こうした努力に基づく国際競技大会における日本人選手の活躍は、国民に誇りと喜び、夢と感動を与え、国民のスポーツへの関心を高めるものである。これらを通じて、スポーツは、我が国社会に活力を生み出し、国民経済の発展に広く寄与するものである。また、スポーツの国際的な交流や貢献が、国際相互理解を促進し、国際平和に大きく貢献するなど、スポーツは、我が国の国際的地位の向上にも極めて重要な役割を果たすものである。

そして、地域におけるスポーツを推進する中から優れたスポーツ選手が生まれ、そのスポーツ選手が地域におけるスポーツの推進に寄与することは、スポーツに係る多様な主体の連携と協働による我が国のスポーツの発展を支える好循環をもたらすものである。

このような国民生活における多面にわたるスポーツの果たす役割の重要性に鑑み、スポーツ立国を実現することは、二十一世紀の我が国の発展のために不可欠な重要課題である。

ここに、スポーツ立国の実現を目指し、国家戦略として、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、この法律を制定する。

参考 5 スポーツ推進基本計画策定体制

(1) 小郡市スポーツ推進基本計画策定委員会設置規則

(目的及び設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第4条の規定に基づき、小郡市におけるスポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進する小郡市スポーツ推進基本計画(以下「計画」という。)を策定することを目的に、小郡市スポーツ推進基本計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の事務を所掌する。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、委員会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会の委員は、20名以内で構成し、次の各号に掲げる者の中から教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 社会体育団体関係者
- (3) 教育・行政機関関係者
- (4) 公募により選ばれた市民
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、前条の規定により教育委員会が委嘱した日から計画の策定が完了する日までとする。

- 2 関係機関・団体等の職をもって選任又は推薦された者にあつては、その職にある期間とし、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によって選出する。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数の出席をもって成立し、議事は、出席委員の過半数で決する。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。
- 3 会議には、意見を聴く必要がある場合には、委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育部スポーツ振興課において処理する。

(委任)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項については、委員会に諮ったうえで、委員長が別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

(2) 小郡市スポーツ推進基本計画策定委員会名簿

	氏名	所属	備考
1	委員長 兄井 彰	福岡教育大学	教授
2	副委員長 石橋 篤	福岡県教育庁北筑後教育事務所	社会教育主事
3	副委員長 片山 芳幸	元小郡市体育指導委員会	元会長
4	米田 管子	小郡市体育協会	副会長
5	佐藤 吉生	小郡市体育協会	副理事長
6	柏木 和治	小郡市スポーツ推進委員会	推進委員
7	川口 セツ子	小郡市スポーツ推進委員会	女性推進委員
8	能塚 治一郎	小郡市社会福祉協議会	総務係長
9	松尾 浩樹	公募	一般
10	黒木 実馬	公募	一般
11	柴田 朋子	小郡市立三国小学校	教頭
12	福永 昌也	小郡市立三国中学校	副校長
13	熊丸 直樹	小郡市企画課	課長
14	藤吉 宏	小郡市健康課	課長
15	伊東 洋子	小郡市子育て支援課	課長
16	秋吉 留美子	小郡市教務課	指導主事

(3) 小郡市スポーツ推進基本計画事務局名簿

	氏名	所属	備考
1	事務局長 佐藤 秀行	教育部長	
2	事務局次長 小中 謙一	スポーツ振興課長	
3	事務局員 檜枝 正隆	スポーツ振興課	管理係長
4	事務局員 米倉 久喜	スポーツ振興課	事業係長
5	事務局員 笠 愛子	スポーツ振興課	事業係員

参考 6 用語解説

スポーツ	スポーツ基本法においてスポーツとは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵(かん)養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動と定義されている
レクリエーション	生活の中にゆとりと楽しみを創造するような活動をいう。
ユニバーサルデザイン	すべての人にとって利用しやすい、利用に困難を伴わない施設とサービスを実現するもので、常に利用者側の利用動向や要請を把握して、さらに進化したデザインとしていく取組みをいう。
バリアフリー	もともとは建築用語で「バリア（障壁）」を「フリー（のぞく）」、つまり障壁となるものを取り除き、生活しやすくすることを意味する。建物内の段差など、物理的な障壁の除去と言う意味合いから、最近ではより広い意味で用いられてきている。
総合型地域スポーツクラブ	一般的に「地域の人々に年齢、興味関心、技術技能レベル等に応じた様々なスポーツ機会を提供する、「多種目」「多世代」「多志向」のスポーツクラブ」（「スポーツ基本計画」平成 24 年 3 月文部科学省策定）として示されている。
スポーツボランティア	地域のスポーツ活動の現場から、大小さまざまなスポーツイベントの運営まで、スポーツイベントを成功に導くサポート役をいう。スポーツボランティアは、その役割と範囲から、定期的な「クラブ・団体ボランティア」、不定期な「イベントボランティア」、トップアスリートやプロスポーツ選手による「アスリートボランティア」に分類される。
生涯スポーツ	その生涯を通じて健康の保持・増進やレクリエーションを目的に「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」スポーツをいう。
ライフステージ	人の一生を少年期・青年期・壮年期・老年期などと分けた、それぞれの段階をいう。
PDCA サイクル	計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Act）のプロセスを順に何度も繰り返し実施する品質管理のマネジメント手法をいう。

スポーツ推進委員	<p>スポーツ基本法において、各市町村の教育委員会が、当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、熱意と能力を有する者の中から、委嘱した人のことをいう。</p> <p>スポーツ推進委員は、当該市町村におけるスポーツの推進のため、教育委員会規則の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。</p>
-----------------	---

小郡市スポーツ推進基本計画

発行 小郡市教育委員会 スポーツ振興課
〒838-0115 福岡県小郡市大保 427 番地 1
でんわ 0942-75-2373 / ファクス 0942-75-2454
E-mail sports@city.ogori.lg.jp